

年 報

— 令和 3 年度 —



No. 11

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
	1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
	2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館）	3
III	教育普及等	
	1. 常設展示	4
	2. 企画展示	4
	3. 教育普及の実績	9
	4. 開館10周年	14
	5. 是川縄文の日	15
	6. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	16
	7. 地域連携	16
	8. 世界遺産登録へ向けた取り組み	18
	9. 調査研究	20
	10. 広報・情報発信	22
	11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	23
IV	埋蔵文化財調査等	
	1. 発掘調査事業概要	24
	2. 調査概要	28
	3. 発掘調査報告書	36
	4. 情報公開	36
	5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業	38
	6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理	38
	7. 埋蔵文化財活用活性化事業	38
V	史跡整備	
	1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	39
	2. 史跡維持管理	40
	3. 一王寺遺跡内容確認調査	40
VI	管理運営概要	
	1. 協議会等	41
	2. 日記抄	42
	3. 来館者利用状況	46
	4. 小中学校利用状況	47
	5. 資料利用状況	48
	6. 資料収蔵	54
	7. 予算概要	55
	8. 新型コロナウイルス感染症対策	55
VII	組織・関係団体	
	1. 組織及び職員構成	57
	2. 八戸縄文保存協会	57
	3. 是川文化財愛護会	58
	4. 縄文是川ボランティア	58
	利用案内	59

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成 23 年（2011）に開館した。是川遺跡、風張 1 遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資する。

また、八戸市縄文学習館は、考古館・歴史民俗資料館とともに是川遺跡と一体となって活用を図る「是川遺跡文化学習ゾーン」の中核施設として、平成 6 年（1994）に開館した。平成 23 年（2011）5 月に一時休館し、展示リニューアルを経て、同年 7 月 10 日に改めて開館した。なお平成 23 年度機構改革により、八戸市縄文学習館は八戸市博物館分館から八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館へ所管替えとなった。

- 昭和 32 年（1957） 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和 36 年（1961） 泉山岩次郎氏、斐次郎氏兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和 37 年（1962） 寄贈品のうち、中居遺跡出土品 633 点が重要文化財に指定。
- 昭和 38 年（1963） 「考古館」完成（9 月 30 日）。
- 昭和 49 年（1974） 「歴史民俗資料館」完成（3 月 30 日）。
- 昭和 50 年（1975） 「歴史民俗資料館」開館（5 月 10 日）。
- 平成 5 年（1993） 3 月 「縄文学習館」基本設計完成。 4 月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5 月 建築予定地発掘調査実施（8 月終了）・地質調査完了。
6 月 映像展示ソフト製作委託実施。 7 月 建築実施設計完成。
8 月 展示実施設計完成。
- 平成 6 年（1994） 3 月 建築・設備・展示各工事完成。 6 月「縄文学習館」開館（6 月 24 日、八戸市博物館分館）。
- 平成 7 年（1995） 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2 月 22 日）。
- 平成 9 年（1997） 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年（2003） 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年（2004） 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
史跡追加指定（史跡総面積 213,372.52㎡、遺跡全体の 56.74%）。
- 平成 17 年（2005） （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年（2006） 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成 19 年（2007） 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 20 年（2008） 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 21 年（2009） 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 22 年（2010）
- 平成 23 年（2011） 4 月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5 月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6 月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定（総数 963 点）。
7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7 月 10 日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7 月 10 日～9 月 25 日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7 月 17 日）。
8 月 来館者 1 万人達成。※本館観覧者数
10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10 月 15 日～11 月 13 日）。
- 平成 24 年（2012） 7 月 開館 1 周年行事開催（7 月 7 日～7 月 24 日）。 来館者 5 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 25 年（2013） 10 月 史跡追加指定（史跡総面積 213,497㎡、遺跡全体の 56.78%）。
- 平成 26 年（2014） 6 月 来館者 10 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 28 年（2016） 5 月 来館者 15 万人達成。※本館入館者総数
7 月 開館 5 周年行事開催（7 月 9 日～7 月 10 日）。
10 月 史跡追加指定（史跡総面積 219,009㎡、遺跡全体の 58.24%）。
- 平成 30 年（2018） 1 月 来館者 20 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 元年（2019） 3 月 「史跡は川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定。
10 月 来館者 25 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 2 年（2020） 是川遺跡発掘 100 周年及び記念イベント開催。
7 月 整備工事のため「縄文学習館」休館。
11 月 「是川縄文の日」、「是川縄文普及月間」制定。
- 令和 3 年（2021） 7 月 開館 10 周年行事開催（7 月 10 日～7 月 11 日）。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産・是川石器時代遺跡が世界遺産に登録（7 月 27 日）。

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- 住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造+ 2 階鉄骨造
- 敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株) 岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株) 丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室 (応接室)	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	常設展示室	503.01	出土品整理室		143.47	
	保存科学室	55.90	国宝展示室	46.60	図面整理室		87.86	
	作業室	54.90	企画展示室	178.37	写真撮影室		41.66	
	ミュージアムショップ	78.59	展示準備室	81.94	ベビーコーナー		4.48	

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
- 器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 八戸市縄文学習館（是川縄文館 分館） ※史跡整備事業により、令和2年7月から第1期整備工事完了まで休館中

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市縄文学習館（八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館）
- 住所：青森県八戸市大字是川字中居 3-1

(2) 施設の概要

- 構造：1階・2階鉄筋コンクリート造
- 敷地面積：15,668.10㎡ ○建築面積：526.34㎡ ○延床面積：623.82㎡
- 建築基本・実施設計：(株) 武田菱設計事務所 ○建築工事：(株) 大入建設
- 展示基本・実施設計及び施工：アール・エー・ビー開発 (株)

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1階：519.940㎡ 2階：103.880㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	事務室	29.975	1F	常設展示室	118.673	2F	資料整理室	34.504
	情報資料室	29.635		体験学習室	80.750		収蔵庫	46.216

- 駐車場：普通車 8 台 ○トイレ：1 か所（障がい者用含む）

(4) 建設事業費 ※総事業費：341,671千円

- 基本・実施設計：11,845 千円 ○外構工事等：5,789 千円 ○本棟工事等：241,665 千円
- 展示工事・映像資料製作：68,644 千円 ○その他：13,728 千円

(5) 展示改修等事業費

- 事業費：8,810 千円 ○展示改修等委託受託者：アール・エー・ビー開発 (株)



八戸市縄文学習館
(八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 分館)

III 教育普及等

1. 常設展示

常設展示は、直感的な手法では川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイマージョン・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成される。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

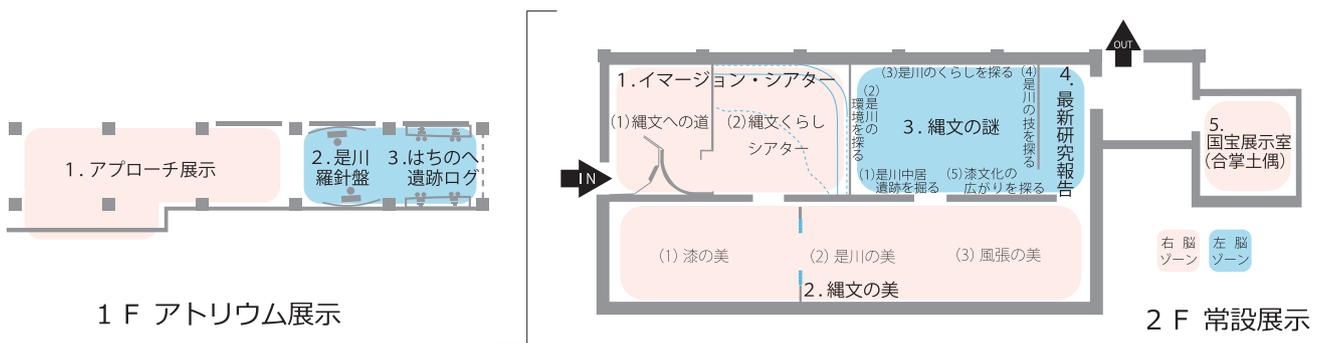
左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。令和3年度は、是川縄文館開館10周年を記念し、第7回「学芸員のおすすめ出土品」を公開した。

合掌土偶は「国宝展示室」の防震・密閉式展示ケースにて展示されている。

1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として9月1日（水）から30日（木）、1月24日（月）から3月7日（月）まで休館とした。その他対策の詳細についてはVI-8新型コロナウイルス感染症対策（→p55）を参照されたい。



展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	51	48	3	-	-	-
是川の美	212	165	47	-	-	-
風張の美	203	203	-	-	-	-
縄文の謎	71	36	4	1	23	7
最新研究報告	12	-	12	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	550	453	66	1	23	7

常設展示品（令和3年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割

2. 企画展示

令和3年度は、昨年度から会期を延長した企画展「是川遺跡の注口土器」、是川縄文館開館10周年記念特別展「是川遺跡」、秋季企画展「装い-身を飾る人びと-」、冬季企画展「是川遺跡の鉢形土器」を開催した。

(1) 企画展「是川遺跡の注口土器」 ※展示内容詳細は年報第10号参照

開催期間 令和2年12月12日（土）～令和3年5月5日（水・祝） 117日間

観覧者数 1,393名（43.53人/日） ※令和3年4月1日から（32日間）

展示資料数 143点

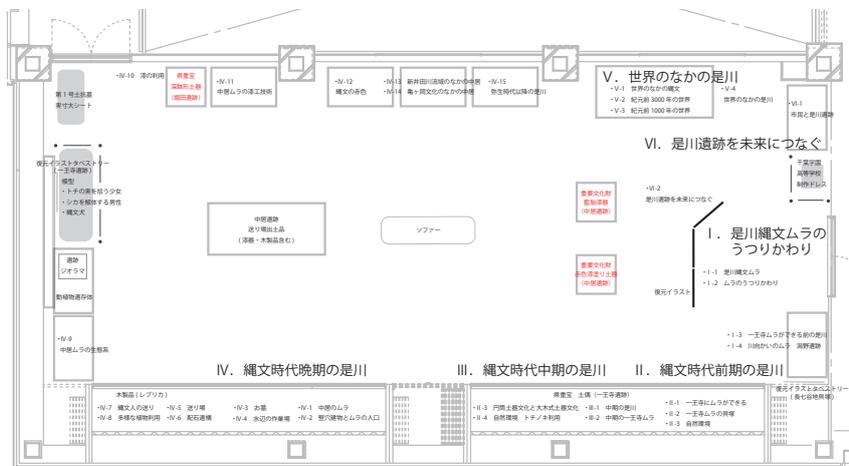
主な展示品 注口土器（中居遺跡） ※展示品の（ ）内は遺跡名/出土地。八戸市内の遺跡は県・市を省略する。

(2) 是川縄文館開館 10 周年記念特別展「是川遺跡」

- 開催期間 7月10日(土)～8月31日(火) 51日間
 ※新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館のため、9月5日の会期閉幕を待たずに終了
- 観覧者数 5,910名(115.88人/日)
- 展示資料数 271点
- 印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)50,000枚 招待券1,000枚
 解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー100ページ)500部
- 主な展示品 爪形文土器・大洞式土器・磨石・中高石皿・遮光器土偶・籃胎漆器・木製容器・石斧柄・動植物遺存体(中居遺跡)、円筒土器・石槍・扁平石器・石錘・骨角製品・貝類(一王寺遺跡)、砂沢式土器(堀田遺跡)、人物像土偶・こぶ牛土偶(パキスタン)、注口付鉢・長嘴壺(イラン北部)、彩陶双耳大壺(中国)、聖火筒バーナー調整窓、千葉学園高等学校生徒制作ドレス ほか
- ※展示品の()内は遺跡名/出土地。八戸市内の遺跡は県・市を省略する。
- 併催行事 特別展ギャラリートーク 7/10を除く会期中土曜日(各1回)午後2時～
 ※8/21・28、9/4は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した
 小・中学生向け特別展ギャラリートーク 7/22・23、8/8 午前10時～
 特別展考古学講座(→p10)12/11 午後2時～
- 展示協力 平山郁夫シルクロード美術館、八戸市博物館、千葉学園高等学校、安芸早穂子、一山義夫

是川縄文館の開館10周年を記念して、当館に隣接する是川遺跡について当館の過去10年間の調査研究・共同研究の成果を中心に展示した。約5,000年に及ぶ是川縄文ムラのうつりかわりや、漆芸技術や植物利用など、是川縄文人の暮らし・生業について紹介するとともに、平山郁夫シルクロード美術館の協力のもと、是川遺跡と同時代に営まれた海外の文化や出土品を展示し、文化の多様性や是川遺跡の特色を紹介した。

会期中、小中学生向けギャラリートークを3回実施し、地域の宝である是川遺跡について関心を深めていただく契機とした。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



赤色漆塗土器(中居遺跡出土)

(3) 秋季企画展「装い－身を飾る人びと－」

開催期間 10月16日(土)～11月28日(日・祝) 37日間

観覧者数 6,212名(167.8人/日)

展示資料数 353点

印刷物 ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)35,000枚

解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー50ページ)500部

主な展示品 土面・櫛・貝製玉(一王寺遺跡)、土偶・土製耳飾り・石製垂飾品・玉類・紅皿(中居遺跡)、土偶・玉・靴形土製品(風張1遺跡)・の字状石製品(松ヶ崎遺跡)石帯・勾玉・毛抜き・煙管(田向遺跡)、土製勾玉・数珠玉・櫛・柄鏡(新井田古館遺跡)、土偶・石製垂飾品・貝製玉(青森県亀ヶ岡遺跡)、土面・人面形浅鉢・環状土製品・玉類・ベンガラ塊・人骨(青森県五月女苑遺跡)、骨針・土面・骨角製垂飾品・貝輪・玉類(青森県寺下遺跡)、装飾品(岩手県峠山牧場I遺跡)、櫛・貝輪・玦状耳飾り・骨角製・垂飾品(岩手県内田貝塚)、土偶・土製腕輪・玉・石製垂飾品(岩手県川目A遺跡)、土面・土製腕輪・土製耳飾り(岩手県相ノ沢遺跡)、貝殻象嵌腕輪・垂飾品(岩手県岩谷洞穴)、硬玉製大珠・貝製玉(岩手県大向上平遺跡)、アツシ、長着(こぎん刺し)、タツツケ(菱刺し)、舞楽面(複製品)、数珠、オダイジ(青森県)、縄文グッズ(千葉学園高等学校生徒制作) ほか

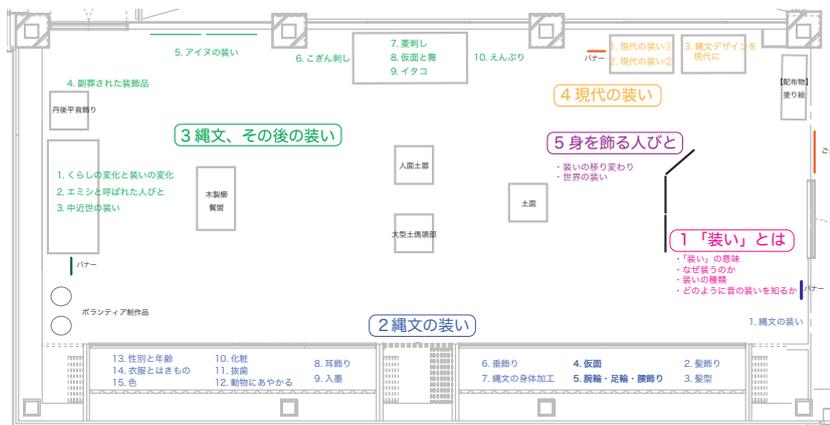
※展示品の()内は遺跡名/出土地等を示す。八戸市内の遺跡は県・市を省略する。

併催行事 企画展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ ※11/6・13は午前10時～

企画展考古学講座(→p10) 11/6 午後2時～

展示協力 青森県立郷土館、五所川原市教育委員会、八戸市博物館、八戸市南郷歴史民俗資料館、階上町教育委員会、岩手県教育委員会、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、岩手県立博物館、函館市教育委員会、野々市市教育委員会、学校法人千葉学園 千葉学園高等学校

縄文時代を中心に、旧石器時代から現代までの装いを取り上げた展示。装身具や着物、化粧道具など各時期の装いに関する資料を展示し、旧石器時代以来の日本における装いの種類や意味の移り変わりについて紹介した。また、千葉学園高等学校生活文化科と連携し、生徒による縄文のデザインをもとにしたグッズ制作も行った。



展示構成



企画展リーフレット



展示状況



土面(一王寺遺跡出土)

(4) 冬季企画展「是川遺跡の鉢形土器」

開催期間 令和3年12月11日(土)～令和4年5月5日(木・祝) 83日間

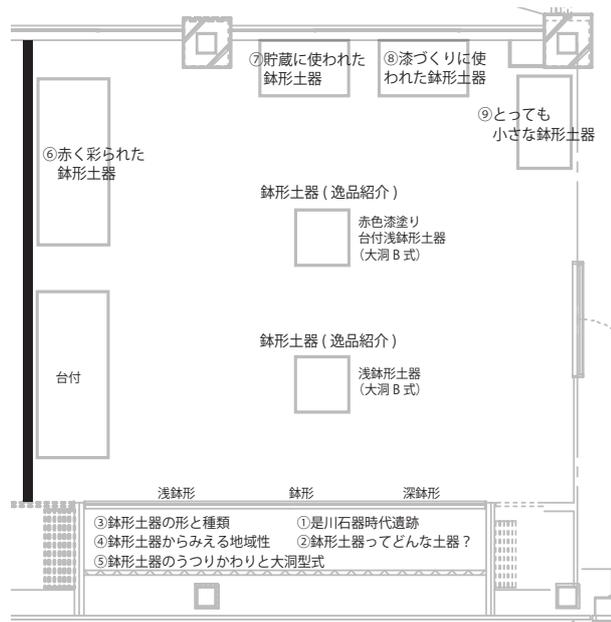
※1月24日(月)～3月7日(月)臨時休館を除く

観覧者数 1,786名(34.35人/日) ※令和4年3月31日時点(52日間)

展示資料数 131点

主な展示品 鉢形土器(中居遺跡)、深鉢形土器(一王寺遺跡)

是川遺跡発掘100周年を記念してスタートした、出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第3回。縄文時代を通して製作され、さまざまな形や使いみちがみられる鉢形土器を取り上げた。是川遺跡で出土した鉢形土器の多様さや、形・デザインのうつりかわりなどを展示。継続して実施している保存修理事業の成果品の公開機会ともなっている。3月21日(日)までの会期だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを減ずるため1月24日(月)から3月7日(月)まで臨時休館したことを受け、5月5日(木・祝)まで期間を延長した。



展示構成



展示状況



冬季企画展ポスター



顔のような装飾をもつ浅鉢形土器

III 教育普及等

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人-関東の晩期安行文化-	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民のくらし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人-是川縄文館・東京大学共同研究展示-	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真-	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界-中部高地の縄文時代-	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2-	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	-	-	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く-人と風と草木のものがたり-	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3-	12/16～3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21～9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6～11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4-	12/15～3/21	75	2,254	30	78
令和元年	特別展	北の縄文世界-北海道・北東北の縄文遺跡群-	7/20～9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5～11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14～4/17	100	3,114	31	205
令和 2 年	夏季企画展	泉山兄弟と是川遺跡	7/18～9/6	50	3,069	61	210
令和 2 年	秋季企画展	白神山地の縄文	10/10～11/23	39	3,597	92	250
令和 2 年	冬季企画展	是川遺跡の注口土器	12/12～5/5	117	1,961	23	143
令和 3 年	特別展	是川遺跡	7/10～8/31	51	5,910	115	271
令和 3 年	秋季企画展	装い-身を飾る人びと-	10/16～11/28	37	6,212	167	353
令和 3 年	冬季企画展	是川遺跡の鉢形土器	12/11～5/5	83	1,786	34	131

過去 11 年間の特別展・企画展一覧

3. 教育普及の実績 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、一部イベントを中止また延期した。

前期考古学講座（5月～7月）：北海道・北東北の縄文遺跡群と世界遺産 7

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/15 (土)	世界遺産登録の先にあるもの－ICOMOSの立場から	岡田保良氏(国士舘大学 名誉教授 日本イコモス国内委員会 委員長)	41
6/19 (土)	縄文時代の巨大な凸凹！千歳市キウス周堤墓群	直江康雄氏(千歳市埋蔵文化財センター 調査係長)	67
	鷲ノ木遺跡の環状列石と竪穴墓域	高橋毅氏(森町教育委員会社会教育課 文化財保護係長)	
7/10 (土)	皆で考えよう縄文文化の価値－是川遺跡を中心に－	岡村道雄氏(奈良文化財研究所 名誉研究員)	62
合 計			170

後期考古学講座（12月～3月）：植物からみる縄文の暮らし

実施	内 容	講 師	参加者(人)
12/18 (土)	里山の環境と植物	馬場光久氏(北里大学 獣医学部 植物生態学系緑地保全研究室 教授)	36
1/15 (土)	かごや縄などの編組製品からみる縄文時代の植物利用	佐々木由香氏(金沢大学 人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究センター 考古学部門 特任准教授)	45
3/12 (土)	小山崎遺跡からわかる縄文人の植物利用	渋谷咲智氏(遊佐町教育委員会教育課文化係 主事)	中止
合 計			81

これかわ考古学クラブ

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/29 (土)	開講式	市川健夫・佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	11
6/5 (土)	バックヤードツアーほか	市川健夫・佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	14
8/7 (土)	一王寺遺跡について	市川健夫・落合美怜・佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	15
10/2 (土)	縄文デザインをつくってみよう！	市川健夫・菊地智慧(当館学芸員)	16
10/30 (土)	縄文土器をつくってみよう！	市川健夫・菊地智慧(当館学芸員)	12
12/4 (土)	縄文人の赤色と黒色を塗ってみよう！	菊地智慧(当館学芸員)	18
3/13 (日)	修了式		中止
合 計			86

特別展ギャラリートーク

実施	講 師	参加者(人)
7/17 (土)	落合美怜(当館学芸員)	11
7/22 (木)	落合美怜(当館学芸員)	5
7/23 (金)	落合美怜(当館学芸員)	9
7/24 (土)	小久保拓也(当館学芸員)	13
7/31 (土)	菊地智慧(当館学芸員)	11
8/7 (土)	落合美怜(当館学芸員)	4
8/8 (日)	落合美怜(当館学芸員)	5
8/14 (土)	市川健夫(当館学芸員)	9
合 計		67

※7/22・23、8/8は小学生向けギャラリートーク

特別展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
12/11 (土)	東アジアのなかの是川石器時代遺跡、そして世界文化遺産へ	水ノ江和同氏(同志社大学文学部教授)	52
合 計			52

縄文土器作り講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
10/16 (土)	素地土作り	落合美怜(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	19
10/23 (土)	縄文土器作り(成形作業)	落合美怜(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	18
11/27 (土)	縄文土器野焼き	落合美怜・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	18
合 計			55

秋季企画展ギャラリートーク

実施	講 師	参加者(人)
10/16 (土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	7
10/23 (土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	8
10/30 (土)	落合美怜(当館学芸員)	6
11/6 (土)	市川健夫(当館学芸員)	7
11/13 (土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	2
11/20 (土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	9
11/27 (土)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	20
合 計		59

秋季企画展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者(人)
11/6 (土)	縄文人が“装う”意味	栗島義明氏(明治大学研究知財戦略機構 黒耀石研究センター特任教授)	60
合 計			60

遺跡調査報告会

実施	内 容	講 師	参加者(人)
11/13 (土)	平(2)遺跡ほか	上ノ山拓己(当館学芸員)	64
	一王寺遺跡	宇庭瑞穂(当館学芸員)	
	石橋遺跡	山田貴博(当館学芸員)	
	新田城跡	苧坪祐樹(当館学芸員)	
合 計			64

サポートスタッフ研修会(5月~6月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/8 (土)	オリエンテーション・是川遺跡について	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	21
5/22 (土)	常設展示解説	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	23
5/29 (土)	世界遺産に関する講話	市川健夫・佐藤ちひろ・菊地智慧 (当館学芸員)	27
6/12 (土)	体験実習(縄文土器作り)	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)	16
6/25 (金)	博物館研修(おいらせ町・五戸町)	佐藤ちひろ(当館学芸員)	17
6/26 (土)	AED講習	八戸消防署救急隊	6
合 計			110

サポートスタッフ研修会 (1月～2月)

実施	内 容	講 師	参加者(人)
1/22 (土)	オリエンテーション	佐藤ちひろ(当館学芸員)	26
1/29 (土)	体験実習(滑石の勾玉作り・火起こし)	落合美怜・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	22
2/5 (土)	常設展示解説①	佐藤ちひろ(当館学芸員)	20
2/19 (土)	常設展示解説②(演習)	佐藤ちひろ(当館学芸員)・縄文是川 ボランティア	20
2/25 (金)	博物館研修(青森・七戸方面)		中止
2/26 (土)	世界遺産に関する講話	小久保拓也(当館学芸員)	25
合 計			113

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
夏季前期：4/4(日)～7/11(日) 15回	火起こし・滑石の勾玉作り	263
夏季後期：8/22(日)～10/31(日) 0回		0
冬 季：11/7(日)～3/27(日) 8回		113
合 計		376

※新型コロナウイルス感染症対策のためメニューを限定して対応。一時中止。

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
7/17(土)～8/8(日) 8回	火起こし・滑石の勾玉作り	175
合 計		175

※新型コロナウイルス感染症対策のため8/14・15は中止。

「是川縄文の日」体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実施	内 容	参加者(人)
11/3(水・祝)	滑石の勾玉作り	43
合 計		43

土曜体験教室

実施	内 容	講 師	参加者(人)
5/1(土)	滑石でペンダント作り教室	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	6
7/3(土)	合掌土偶作り教室	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	13
9/18(土)	シカの角でペンダント作り教室		中止
11/20(土)	トチの実で縄文クッキング	落合美怜・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	12
1/8(土)	縄文土器の拓本作り教室	佐藤ちひろ・菊地智慧(当館学芸員)・ 縄文是川ボランティア	13
3/5(土)	縄文土偶作り教室	※臨時休館に伴い中止	中止
合 計			44

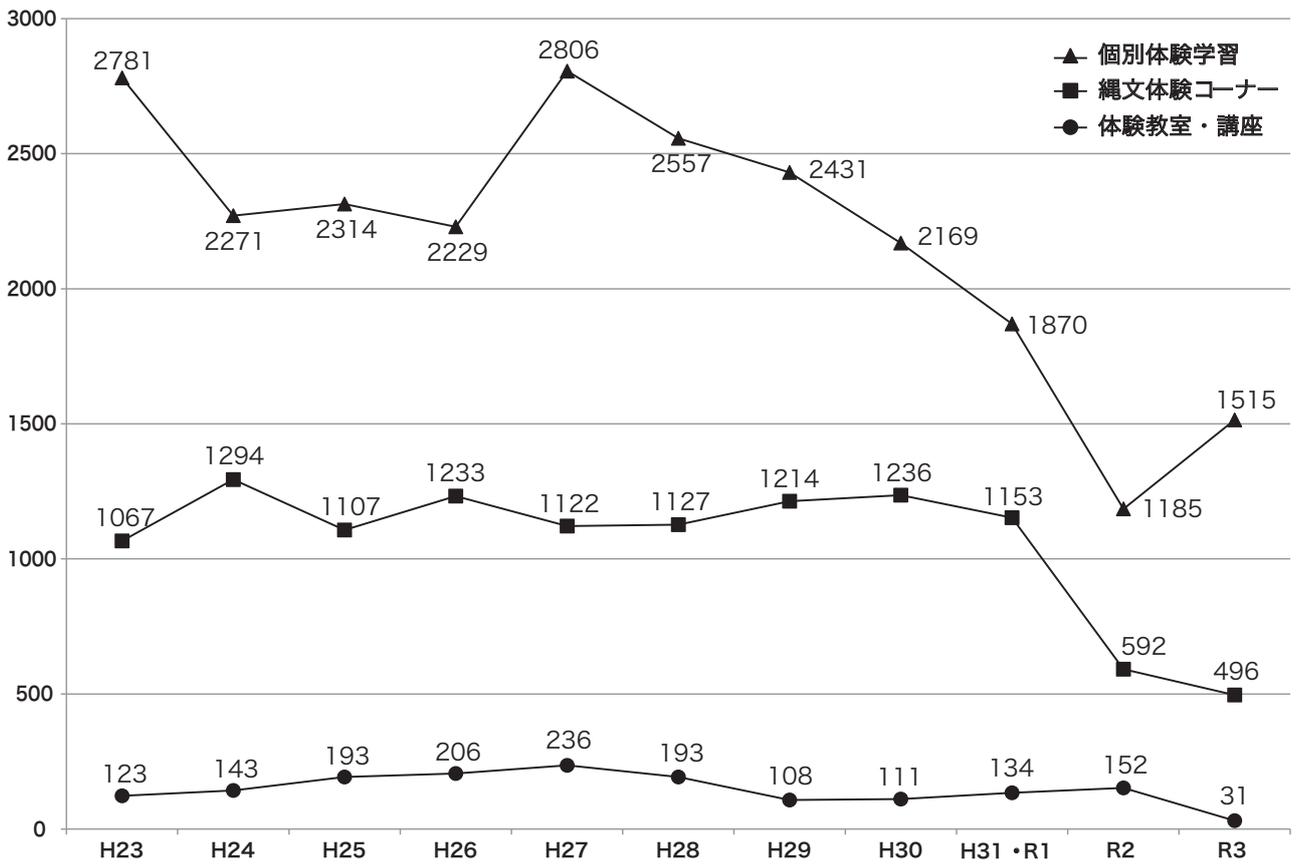
学芸員等による講話・授業 ※館内開催分。館外対応分は p.21(2) を参照されたい。

実施	内容	講師	団体(場所)	参加者(人)
7/1(木)	「世界遺産へGO! 是川遺跡から学ぶ JOMON」	市川健夫 (当館学芸員)	五戸町立五戸小学校 (於: 是川縄文館)	70
10/1(金)	講話「縄文是川と世界遺産」	工藤朗 (当館館長)	鷗盟大学(於: 是川縄文館)	21
10/8(金)	講話「縄文是川と世界遺産」	工藤朗 (当館館長)	鷗盟大学(於: 是川縄文館)	24
10/30(土)	講話(動画上映)「漆と縄文人」	小久保拓也 (当館学芸員)	縄文是川ボランティアガイド 学習会(於: 是川縄文館)	13
11/9(火)	「世界遺産へGO! 是川遺跡から学ぶ JOMON」	市川健夫 (当館学芸員)	八戸市立是川中学校 (於: 是川縄文館)	99
11/9(火)	講話「是川縄文館と世界遺産」	小久保拓也 (当館学芸員)	八戸市総合政策部市民連携推 進課(於: 是川縄文館)	18
11/27(土)	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「縄文土器作り」「日本考古学における研究方法の広がり」 「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」・ 「是川遺跡の立地と環境」	市川健夫・ 小久保拓也 (当館学芸員)	放送大学八戸サテライトス ペース(於: 是川縄文館)	12
11/28(日)	面接授業『是川遺跡の縄文考古学』 「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」「是川遺跡の縄文考古学」・ 「縄文時代の漆文化」「世界遺産登録と北海道・北東北の 縄文遺跡群」	市川健夫・ 小久保拓也 (当館学芸員)	放送大学八戸サテライトス ペース(於: 是川縄文館)	11
1/15(土)	講話「八戸の古代集落」	宇部則保(当館 発掘専門員)	縄文是川ボランティアガイド 学習会(於: 是川縄文館)	16
合 計				284

ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者(引率者等含む)の数を記載する。

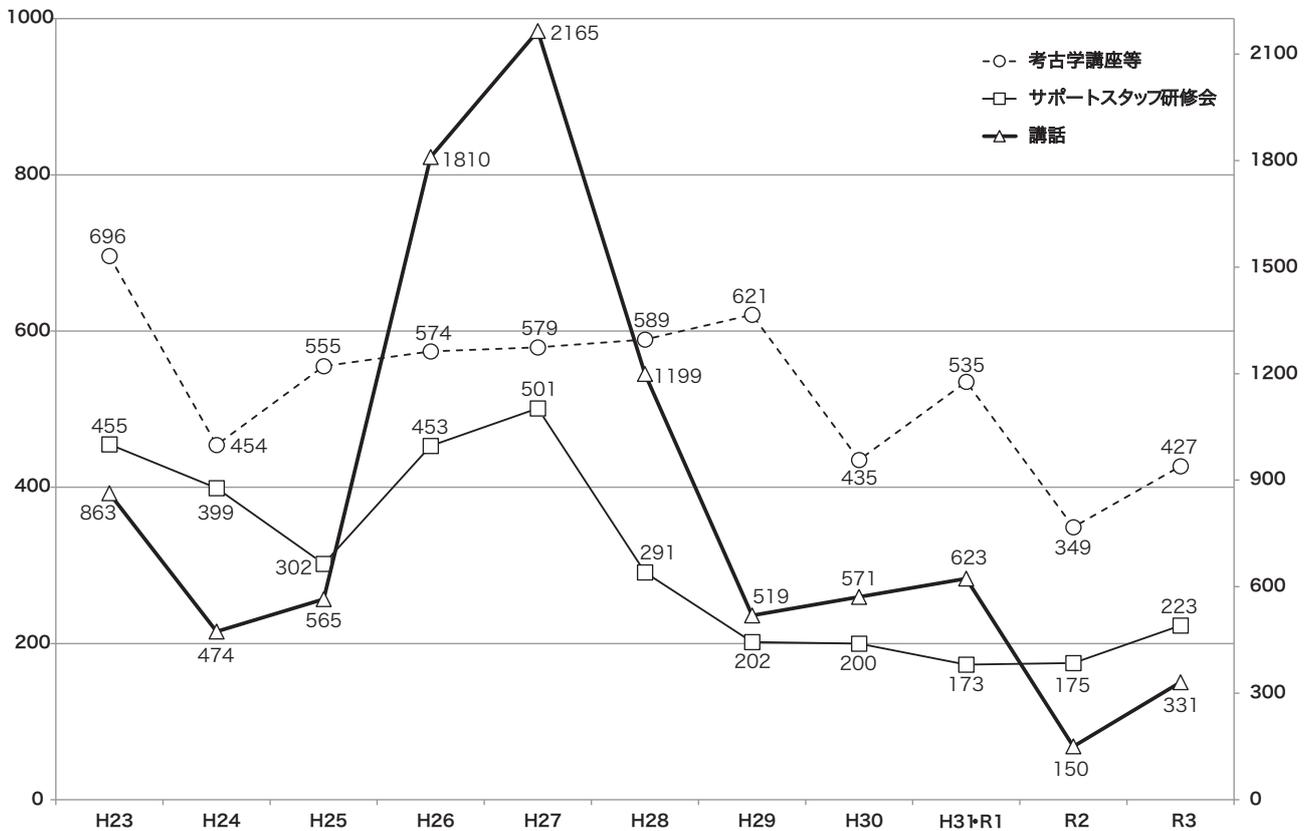
月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
5/7	滑石の勾玉作り	五戸町立上市川小学校 6 学年	24	10/15	野焼き※3	八戸市立是川中学校	99
5/7	滑石の勾玉作り	五戸町立切谷内小学校 6 学年	9	10/19	縄文土器作り	鷗盟大学	33
6/1	滑石の勾玉作り	新郷村立新郷小学校 6 学年	21	10/21	滑石の勾玉作り	八戸市立根城小学校 6 学年	59
6/2	火起こし	八戸市立島守小学校 6 学年	8	10/22	滑石の勾玉作り	三沢市立三沢小学校	75
6/4	滑石の勾玉作り	こども支援センター	7	10/28	火起こし	田子町立清水頭小学校 5・6 学年	11
6/8	縄文土器作り	私立向陵高等学校 1～3 学年	29	11/11	滑石の勾玉作り	八戸市立是川小学校 1 学年	21
7/1	火起こし	五戸町立五戸小学校 6 学年	70	11/12	滑石の勾玉作り	八戸市立三条小学校 6 学年	63
7/2	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	20	11/12	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	40
7/15	滑石の勾玉作り	八戸市立城北小学校 6 学年	67	11/16	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	68
7/16	土製ペンダント作り	八戸市立中居林小学校 6 学年	50	11/16	滑石の勾玉作り	八戸市立是川小学校 2 学年	35
7/20	土製ペンダント作り	八戸市立第二中学校 1 学年	88	11/18	滑石の勾玉作り	八戸市立是川小学校 3 学年	19
7/20	火起こし※1	青森県立八戸盲聾学校	25	11/27	縄文土器作り	放送大学	10
7/30	滑石の勾玉作り	ひのでこども園	22	12/2	滑石の勾玉作り	階上町立赤保内小学校 6 学年	27
8/21	滑石の勾玉作り	湊児童館	25	12/3	滑石の勾玉作り	八戸市立江陽小学校 6 学年	36
8/25	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	29	12/9	滑石の勾玉作り	八戸市立吹上小学校 6 学年	96
8/27	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	23	12/15	滑石の勾玉作り	青森県老人クラブ連合会	17
9/14	縄文土器作り※2	八戸市立是川小学校 6 学年	20	12/17	滑石の勾玉作り	青森県立八戸聾学校	4
10/2	火起こし	個人	3	12/17	滑石の勾玉作り	八戸市立多賀台小学校 6 学年	25
10/4	滑石の勾玉作り	八戸市立高館小学校 5・6 学年	54	12/21	縄文土器作り	(株) 青森テレビ	1
10/12	縄文土器作り	鷗盟大学	32	合 計			1,365

※1: 出前教室(於: 青森県立八戸盲聾学校) ※2: オンライン教室(於: 八戸市立是川小学校) ※3: 出前体験(於: 八戸市立是川中学校)



過去 11 年間の体験学習の利用者推移

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、体験受け入れを一部中止した。詳細はVI-8 新型コロナウイルス感染症対策を参照されたい。



過去 11 年間の講演会等の利用者推移

※サポートスタッフ研修会は平成 28 年度から開催回数減となっている。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部中止や縮小の対応をとった。詳細はVI-8 新型コロナウイルス感染症対策を参照されたい。

4. 開館10周年

(1) 概要

八戸市の埋蔵文化財センターとして平成 23 年 7 月 10 日に開館した是川縄文館は、令和 3 年 7 月 10 日で 10 周年を迎えた。2 日間にわたり記念イベントを実施するとともに、開館からの歩みを振り返り、新たな節目に向けて遺跡や縄文の魅力を発信した。

来館者総数は、7 月 10 日が 491 人、11 日が 202 人、合計 693 人にのぼった。

(2) 実施内容

①無料開放及び「いのるんグッズ」プレゼント

(先着 100 人)

②開館 10 周年パネル展

期 日 7 月 10 日 (土) ～継続展示中

内 容 開館から現在までの主な出来事を年表形式でパネルを作成・展示。あわせて、これまでの特別展・企画展のポスターを展示。

③学芸員とまわる是川縄文館バックヤードツアー

期 日 7 月 10 日 (土)、11 日 (日)

各 10:00～11:00

参加者数 7 月 10 日: 24 人 7 月 11 日: 17 人

内 容 普段は公開していないバックヤードを当館学芸員が案内 (作業室・一般収蔵庫・書庫・研究室・写真撮影室・出土品整理室)。

④開館 10 周年記念講演会

期 日 7 月 10 日 (土) 14:00～16:00

参加者数 62 人

内 容 演題: 「皆で考えよう縄文文化の価値—是川遺跡を中心に—」

講師: 岡村道雄氏

※講師と 5 人の当館学芸員による発表。

参加者との対話形式で行われた。

⑤学芸員とまわる是川遺跡ツアー

期 日 7 月 11 日 (日) 14:00～15:30

参加者数 21 人

内 容 中居遺跡と一王寺遺跡を当館学芸員が案内。



バックヤードツアー



記念講演会



遺跡ツアー



開館 10 周年チラシ

5. 是川縄文の日

(1) 概要

泉山岩次郎・斐次郎兄弟による是川遺跡発掘 100 周年の節目となる令和 2 年に、毎年 11 月 3 日を「是川縄文の日」、毎年 11 月を「是川縄文普及月間」と定め、市民一人一人が、是川の縄文遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力を理解するとともに、誇りを持つことができるよう、継続して市民に情報発信していくこととしたものである。

2 年目にあたる令和 3 年は、7 月に是川縄文館開館 10 周年と、是川石器時代遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録という大きなニュースの影響もあり、縄文への注目度が増したことで、コロナ禍ではあったものの、昨年よりも来場者数が増加した。

(2) 実施内容

○是川縄文の日

期 日 11 月 3 日 (水・祝) 9:00～17:00

来場者数 740 人 (令和 2 年: 583 人)

内 容 ①無料開放 ②記念品配布 ③学芸員と遺跡ツアー (雨天のため、2 回目からは学芸員による常設展ギャラリートークへ変更) ④縄文体験コーナー (滑石の勾玉作り) ⑤いのるんクイズに挑戦! ⑥JOMON クロスワード(～11/30 まで) ⑦発掘調査出土品展示 ⑧おうちでお面を作ろう! (工作キット配布) ⑨コーヒー 1 杯無料サービス (これカフェ)

○是川縄文普及月間

期 日 11 月 1 日 (月)～30 日 (火)

来場者数 4,427 人 (令和 2 年: 2,971 人)

内 容 ①秋季企画展「装いー身を飾る人びとー」(10/16～11/28) ②秋季企画展考古学講座「縄文人が“装う”意味」(11/6) ③秋季企画展ギャラリートーク (期間中毎週土曜) ④遺跡調査報告会 (11/13) ⑤トチの実で縄文クッキング (11/20) ⑥是川中学校世界遺産講座 (出前講座 11/9) ⑦日曜日縄文体験コーナー (毎週日曜) ⑧縄文土器野焼き (11/27) ⑨「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念式典 (文化庁主催・オンライン、於: 八戸市庁議室 11/22) ⑩第 6 回は川縄文の里俳句大会表彰式 (八戸縄文保存協会主催 11/28) ⑪是川石器時代遺跡世界遺産登録記念式典 (於: 八戸プラザホテルプラザアーバンホール 11/29)



学芸員と遺跡ツアー



大人気のマスコットキャラクター「いのるん」



おうちでお面を作ろう! のコーナー



是川縄文の日チラシ

6. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成 27 年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年 1 回、貸切バスを無償で活用してもらえるようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

令和 3 年度は、八戸市内 7 校延べ 340 人、市外 2 校 47 人、計 387 人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。引率者を含めた利用者総数は 411 人である。

月日	学校名	内容	人数(人)
7/2	田子町立田子小学校 6 学年	体験・見学	20
7/16	八戸市立城下小学校 6 学年	見学	49
10/21	八戸市立根城小学校 6 学年	体験・見学	59
11/12	八戸市立三条小学校 6 学年	体験・見学	60
11/12	八戸市立柏崎小学校 6 学年	体験・見学	37
11/16	八戸市立柏崎小学校 6 学年	体験・見学	68
12/2	階上町立赤保内小学校 6 学年	体験・見学	27
12/3	八戸市立江陽小学校 6 学年	体験・見学	36
12/17	八戸市立多賀台小学校 6 学年	体験・見学	25
計 9 校 387 人			

令和 3 年度はっふる隊実績

7. 地域連携

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した 2 日間計 8 回にわたる面接授業を開講している。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症防止対策により、定員を 15 名に減じて青森県内の学生に限って開講した。是川遺跡や是川縄文館に関心をもつ 11 名の受講生が集まり、感染症対策をとりつつ講義を実施した。

・講義内容

科目名：「是川遺跡の縄文考古学」

(全 8 回)

- 第 1 回 「是川遺跡の立地と環境」
- 第 2 回 「縄文土器作り」
- 第 3 回 「日本考古学における研究方法の広がり」
- 第 4 回 「縄文時代の漆文化」
- 第 5 回 「動物考古学からわかる縄文人の暮らし」
- 第 6 回 「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」
- 第 7 回 「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」
- 第 8 回 「世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」

日 時：11 月 27 日(土) (第 1 回 - 第 4 回)、
11 月 28 日(日) (第 5 回 - 第 8 回)
10:00 ~ 17:10

会 場：是川縄文館 2F 企画展示室ほか

講 師：市川 健夫 (当館主査兼学芸員)・小久保 拓也 (当館副参事)・杉山 陽亮 (社会教育課 主幹)



放送大学面接授業(1 日目)



放送大学面接授業(2 日目)

○高校との連携

・八戸圏域高等学校地域活動促進事業への協力

世界遺産登録に向けて遺跡への関心を高めることを目的とした、千葉学園高等学校生徒による縄文をデザインしたファッション及び縄文グッズ制作。当館学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言協力を行った。デザインした作品は、一部を秋季企画展で展示したほか、12月2日から3日にかけて八戸ポータルミュージアムはっちで展示された。その後、より多くの方々の目に触れる機会を作るため、是川縄文館1階アトリウムで展示公開を行った。

・八戸商業高等学校3学年研究課題への協力

八戸商業高等学校の事業への協力。生徒自ら課題を設定し取り組むグループ課題「謎解き縄文館 with いのるん～謎解きをして縄文文化を知って”好き”になる!!～」において、縄文文化をテーマにした生徒らへの指導を行ったほか、同グループが企画したイベントのチラシに掲載する画像の提供や、当日のイベント会場・器具の貸出しなども行った。



縄文グッズ (ヘアゴム)



縄文グッズ (ストラップ)



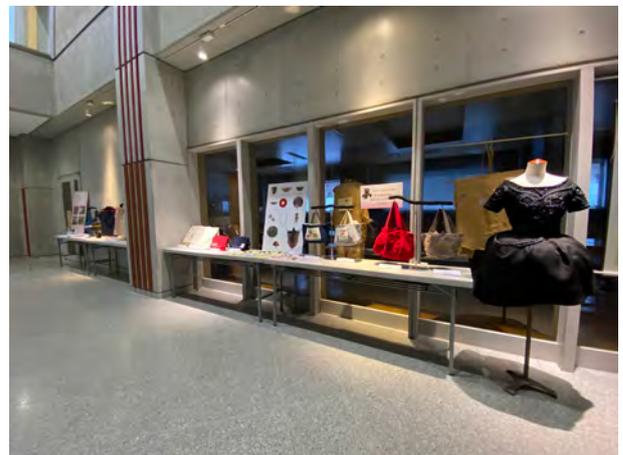
八戸商業高校生徒によるイベントの様子 (1)



縄文グッズ (ブローチ)



八戸商業高校生徒によるイベントの様子 (2)



縄文グッズ等展示状況

8. 世界遺産登録へ向けた取り組み

○世界遺産登録

八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、史跡是川石器時代遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群（以下縄文遺跡群）」の世界遺産登録を目指し、この目標を達成した。

5月にはユネスコ諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）から、縄文遺跡群について「記載」勧告が出された。そして中国福州及びオンラインで開催された、第44回世界遺産委員会拡大大会合において、7月27日に縄文遺跡群の世界遺産一覧表の「記載（登録）」が決定した。

縄文遺跡群の適切な保存管理のため、世界遺産登録推進会議・専門家委員会・担当者会議等で審査対策や包括的保存管理体制、構成資産の経過観察や遺産影響評価等の協議を進めてきた。令和2年度から継続して経過観察を試行し、庁内関係課で組織する「史跡是川石器時代遺跡保存活用連絡会議」の連携により年次報告書を作成した。また、遺産影響評価も試行し、是川石器時代遺跡では第1期整備事業における歴史民俗資料館除却工事の評価を行った。

○登録記念行事

7月27日には、世界遺産委員会の様子をオンラインで中継する「第44回世界遺産委員会パブリックビューイング」を是川縄文館体験交流室にて開催し、世界遺産登録の瞬間を市民と共有した。翌28日には、八戸市庁本館市民ホールにて「世界遺産登録記念セレモニー」を開催し、関係者とともに是川石器時代遺跡の世界遺産登録を記念するイベントを開催した。11月22日には、文化庁主催の「世界遺産登録記念式典」がオンラインで開催され、これに八戸市長が出席した。11月29日には、八戸市主催の「是川石器時代遺跡世界遺産登録記念式典」を開催し、関係者とともに登録を祝賀した。同式典では、千葉学園高等学校による是川中居遺跡の遮光器土偶をデザインしたドレスのお披露目とファッションショーのほか、地元妻神えんぶり組による摺りを披露いただいた。



第44回世界遺産委員会パブリックビューイング



世界遺産登録記念セレモニー



遮光器土偶のドレス（八戸市式典）



登録記念サイン（市庁前広場・広告塔）

○PR 事業

世界遺産への登録や保存には市民の理解が必要不可欠であるため、積極的なPRに努めている。令和3年度は、7月の世界遺産登録を見据え、パネル展のほか、縄文遺跡群の構成資産や、国内の世界遺産を紹介する考古学講座を2回開催した(→p10)。

登録後は、八戸市庁前広場の広告塔や、八戸市庁と是川縄文館に世界遺産登録をお知らせする看板を掲出したほか、八戸市中心街とJR八戸駅に掲示していたバナーフラッグについて、世界遺産登録を記念したものに更新して掲出した。

市民に世界遺産登録をお知らせするため、八戸市営バスの全面ラッピングを行い、12月から市内各路線を運行している。バスは、デザインと福祉をつなげる取り組みを進めている「想造楽工」によるもので、イラストは、就労継続支援B型事業所「ふれ愛プラザあおば」の利用者の皆さんによるものである。デザインを活用し、PRの一環として、世界遺産登録を記念したオリジナルグッズの製作も行った。また、郷土への誇りと愛着を育むため、小学校高学年向けの社会科副読本を作成した。

県外へのPRとしては、道の駅フリーペーパーへの広告掲載、旅行誌「るるぶ東北'23」への取材記事掲載を行った。旅行誌については、インターネット媒体である「るるぶ&more」を通じて紹介記事の掲載を行った。このほか、4道県共同推進体制による登録記念フォーラムへの協力などを行った。

○その他事業

世界遺産登録を記念し、アマチュア無線クラブによる記念局運用に協力し、当館では9月13日と12月27日に各地と交信が行われた。



バナーフラッグ (八戸駅)



ラッピングバス



世界遺産登録記念グッズ



のぼり



社会科副読本



フリーペーパー道の駅・るるぶ東北'23

III 教育普及等

9. 調査研究

(1) 共同研究

【第 3 期共同研究】

是川縄文館では調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。共同研究により蓄積された質の高い成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第 1・2 期共同研究では、縄文時代の八戸地域における環境と人の関わりについて研究を進め、その成果を通して、環境変動に適応してきた縄文人による、文化の形成や変遷の解明が課題として認識された。八戸地域は、先史時代から物流などの拠点であり、さまざまな物資・情報が集まる地域である。ほかの地域の文化要素があいまって豊かな文化を育んできたことが想定される。

この課題に取り組む上で、近年、土器の胎土に含まれる火山ガラスの分析・研究が注目されている。この研究を主導する弘前大学大学院と協議を行い、平成 30 年度から共同研究を推進することとした。

共同研究 3 年次にあたる令和 2 年度は、弥生時代後期から平安時代を対象として進めた。八戸地域のほか、奥入瀬川流域等の近隣地域も含めて分析サンプルの抽出・採取及び火山ガラス分析を行った。研究の推進にあたり、おいらせ町阿光坊古墳館、九戸村教育委員会、八戸市博物館（敬称略）から協力いただいた。

○共同研究テーマ 『火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明』

火山列島である我が国から出土する縄文土器には、火山ガラスが豊富に含まれている。火山ガラスは、噴出源の火山によって化学組成が異なっており、同じ火山でも噴火時期によって産状に違いがみられる。

こうした特徴を活かして分析することで、土器の製作地域を特定することが可能となり、土器の搬入や搬出、模倣製作等の実態を明らかにすることができる。また、火山の噴出時期の年代がこれまでの研究によって蓄積されていることから、火山ガラスの違いによって土器の移り変わりを明らかにすることができる。

本共同研究では、こうした分析から土器の移り変わりと、他地域からの文化要素の抽出の精緻化を進め、八戸地域における先史時代文化の形成・変遷の解明を試みる。

○研究期間 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月（平成 30 年～令和 4 年度の 5 ヶ年計画の 4 年目）
※さらなる分析の必要性から、令和 4 年度まで 1 年延長させることとした。

○研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
弘前大学大学院人文社会科学部研究科（関根 達人 教授）
弘前大学大学院理工学研究科（柴 正敏 名誉教授・近藤 美左紀 氏）

○研究活動等

- ・火山ガラス分析用試料の検討及び抽出
- ・八戸市及び青森県おいらせ町の遺跡から出土した奈良時代の土器 19 点の火山ガラス観察及び 13 点のサンプル採取、火山ガラス分析
- ・共同研究成果展示協議
- ・共同研究成果の総括及び公表『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 研究紀要』第 11 号

(2) 学芸員の研究等業績：令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

【論文等】

- 令和 3 年 7 月 落合美怜 令和 3 年度特別展図録『是川遺跡』
 令和 3 年 9 月 市川健夫 「漆工芸」『世界遺産になった！縄文遺跡』同成社
 小久保拓也 「是川石器時代遺跡」「長七谷地貝塚」 同上
 小久保拓也 「ここが見所、我が博物館 是川縄文館」『My 舎人倶楽部』36 敬文舎
 令和 3 年 11 月 小久保拓也 「是川石器時代遺跡」「長七谷地貝塚」『月刊文化財』698 第一法規
 令和 3 年 12 月 佐藤ちひろ 令和 3 年度秋季企画展図録『装い-身を飾る人びと-』
 令和 4 年 1 月 小久保拓也 「考古学と埋蔵文化財の関係性を考える・八戸市」『季刊考古学』158 雄山閣
 令和 4 年 2 月 小久保拓也 「是川石器時代遺跡での保存・活用、地域との協働」文化遺産の世界 Web サイト
 令和 4 年 3 月 佐藤ちひろ 「泉山兄弟と是川遺跡」『古代文化』73-4 公益財団法人古代学協会

【講話】

実 施	内 容	講 師	会 場	参加者(人)
6/12 (土)	八戸市史講座「漆と縄文人」	小久保拓也	八戸市立図書館	16
8/26 (木)	電気関係学会東北支部連合大会 「世界遺産！縄文遺跡」	小久保拓也	八戸工業大学	47
8/26 (木)	八戸中央ライオンズクラブ例会 「世界遺産 是川石器時代遺跡」	市川健夫	八戸グランドホテル	16
10/21 (木)	根岸公民館講座「世界遺産と縄文」	市川健夫	根岸公民館	15
10/23 (土)	じょーもびあ・遺跡の案内人第 2 回オープンカレッジ「北海道・北東北の縄文遺跡群のなかの是川石器時代遺跡」	市川健夫	じょーもびあ宮畑	30
11/17 (水)	2021 年度地域文化論授業 「是川縄文館の活動と世界遺産・縄文遺跡群」	小久保拓也	八戸学院大学	321
12/11 (土)	八戸市史講座「八戸地方の古代蝦夷のムラ」	宇部則保	八戸市立図書館	41
2/16 (水)	ジオサイトから見る世界遺産オンラインセミナー 「世界遺産と是川遺跡」	小久保拓也	浄土ヶ浜ビジターセンター・大船渡市立博物館・岩手県立博物館	71
2/16 (水)	是川小学校教職員オンライン研修 「世界遺産 是川石器時代遺跡」	小久保拓也	是川小学校	16
合 計				573

【他機関への指導・協力】

令和 3 年 9 月

宇部則保 五所川原市石田遺跡発掘調査指導（青森県埋蔵文化財調査センター）

令和 3 年 12 月

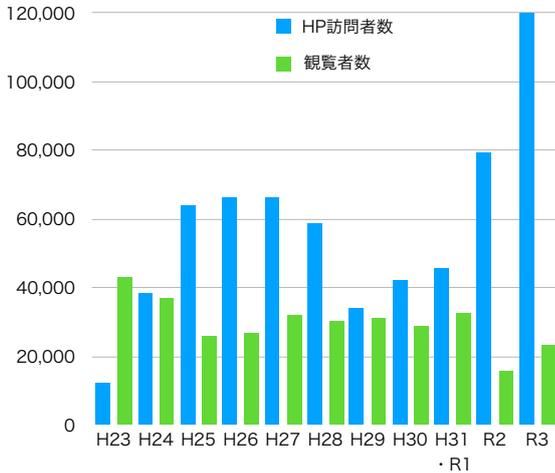
宇部則保 八戸市法霊林遺跡報告書作成指導（青森県埋蔵文化財調査センター）

10. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

①ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1日あたりの平均訪問者数は328人（令和3年4月～令和4年3月まで）であった。



月	HP 訪問者数	観覧者数	更新回数	平均 (人/日)	英語版 HP
4	6,423	1,086	16	214.1	32
5	9,787	1,606	7	315.7	28
6	10,436	1,713	9	347.9	13
7	15,693	3,741	8	506.2	64
8	14,444	3,656	9	465.9	119
9	7,996	117	2	266.5	34
10	12,501	3,054	4	403.3	38
11	13,815	4,908	8	406.5	76
12	8,523	1,820	10	274.9	13
1	8,139	950	9	262.5	25
2	4,988	164	5	178.1	17
3	7,054	699	5	227.5	28
計	119,799	23,514	92	328.2	487

ホームページ訪問者数と更新回数

②広報はちのへ「いのるん通信」

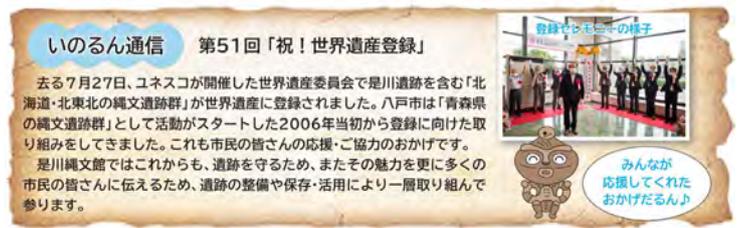
是川縄文館の最新情報のPRとともに、体験学習や発掘調査等の活動の参加者へインタビューし、内容を紹介します。是川縄文館の魅力を伝える連載記事。市広報誌「広報はちのへ」において隔月連載（5・7・9・11・1・3月号）。99,000部発行。

- 5月号：第49回
「サポートスタッフ研修会」
- 7月号：第50回
「祝！開館10周年」
- 9月号：第51回
「祝！世界遺産登録」
- 11月号：第52回
「発掘レポート-石橋遺跡-」
- 1月号：第53回
「是川縄文の日」
- 3月号：第54回「鉢形土器 大集合！」

③新聞記事

企画展・特別展をテーマとした連載記事を職員等が作成し、開催期間に合わせてデーリー東北新聞に掲載した。

- 特別展 7/11・18・25,
8/1・8・15・22 の7回
- 秋季企画展 10/27,11/3,10,17 の4回



いのるん通信（第51回）



企画展連載記事（デーリー東北新聞）

④ 広告掲載

企画展や是川縄文館をPRするため、地元新聞等に広告を掲載した。

- ・開館 10 周年記念特別展「是川遺跡」開催案内広告
デーリー東北新聞社 (7/21)、
情報コーナー (9/1)、
東奥日報社 (7/31・8/13)、
情報羅針盤コンパス (7/16)
- ・秋季企画展「装い-身を飾る人びと-」開催案内広告
デーリー東北新聞社 (10/14・21・27)、
東奥日報社 (10/16・11/6)、
情報羅針盤コンパス (11/12・11/19)

⑤ BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した (2ヶ月に1度)。

⑥ 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展図録等を下記のとおり刊行した。

図録は館内ミュージアムショップで販売している。

- ・「掘り day はちのへ - 八戸市埋蔵文化財ニュース -」第 24 号 A4 版カラー 8 ページ
- ・是川縄文館開館 10 周年記念特別展図録「是川遺跡」A4 版カラー 100 ページ
- ・秋季企画展図録「装い-身を飾る人びと-」A4 版カラー 50 ページ
- ・「研究紀要」第 11 号 A4 版モノクロ (一部カラー) 45 ページ
- ・社会科副読本「八戸発見ブック 2 世界遺産になった！是川石器時代遺跡」A5 版カラー 8 ページ



特別展図録「是川遺跡」

11. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

① ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。この中には、是川縄文館で展示解説や体験学習指導を行っている縄文是川ボランティアが製作した土器や土偶のレプリカも含まれている。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。令和3年度は、まめぐいや世界遺産登録を記念したグッズなどを新たに追加し、商品の更なる充実を図った。



ミュージアムショップ

【商品一例】

ポストカード、マグカップ、キーホルダー、ストラップ、Tシャツ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土偶及び土器等のレプリカ、お菓子 (クッキー、人形焼、せんべいなど)、当館刊行物、考古学関連書籍等。

② 喫茶コーナー

古代米を使用した「縄文カレー」や縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、クルミをトッピングした「縄文ソフトクリーム」等を提供している。「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、491 か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法第 93 条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同 94 条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の 60 日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法第 99 条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会で対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の 4 か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 令和 3 年度の発掘調査

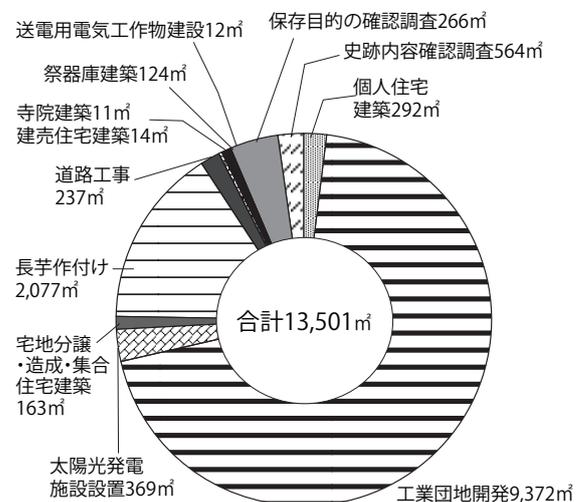
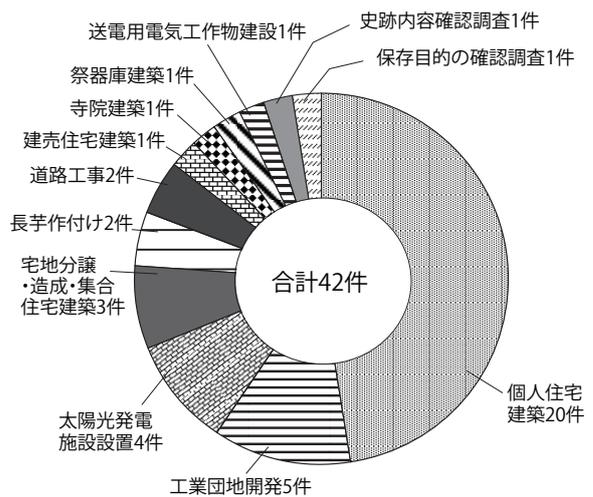
令和 3 年度は、25 か所の遺跡で計 42 件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査 28 件、本発掘調査 12 件（試掘後の本調査を含む）、重要遺跡の内容確認調査 2 件である。

調査原因の種類別では、個人住宅建築 20 件、工

業団地開発関連 5 件、太陽光発電設備設置 4 件、長芋作付け 2 件、範囲内容確認調査 2 件、道路工事 2 件、その他祭器庫建築・寺院建築・長屋住宅建築、建売住宅建築、賃貸住宅建築、送電用工作物建設、土留め盛土工事が各 1 件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが最も多く、全体の 49% を占める。工業団地開発関連がそれに次ぎ 11% で、個人住宅建築と合わせると全件数の約 6 割である。

調査面積では工業団地開発を含むそのほかが多く、長芋作付けがこれに次ぐ。工業団地開発に係る範囲内容確認調査と本発掘調査だけでも約 65% を占める。



令和 3 年度調査原因ごとの調査面積内訳

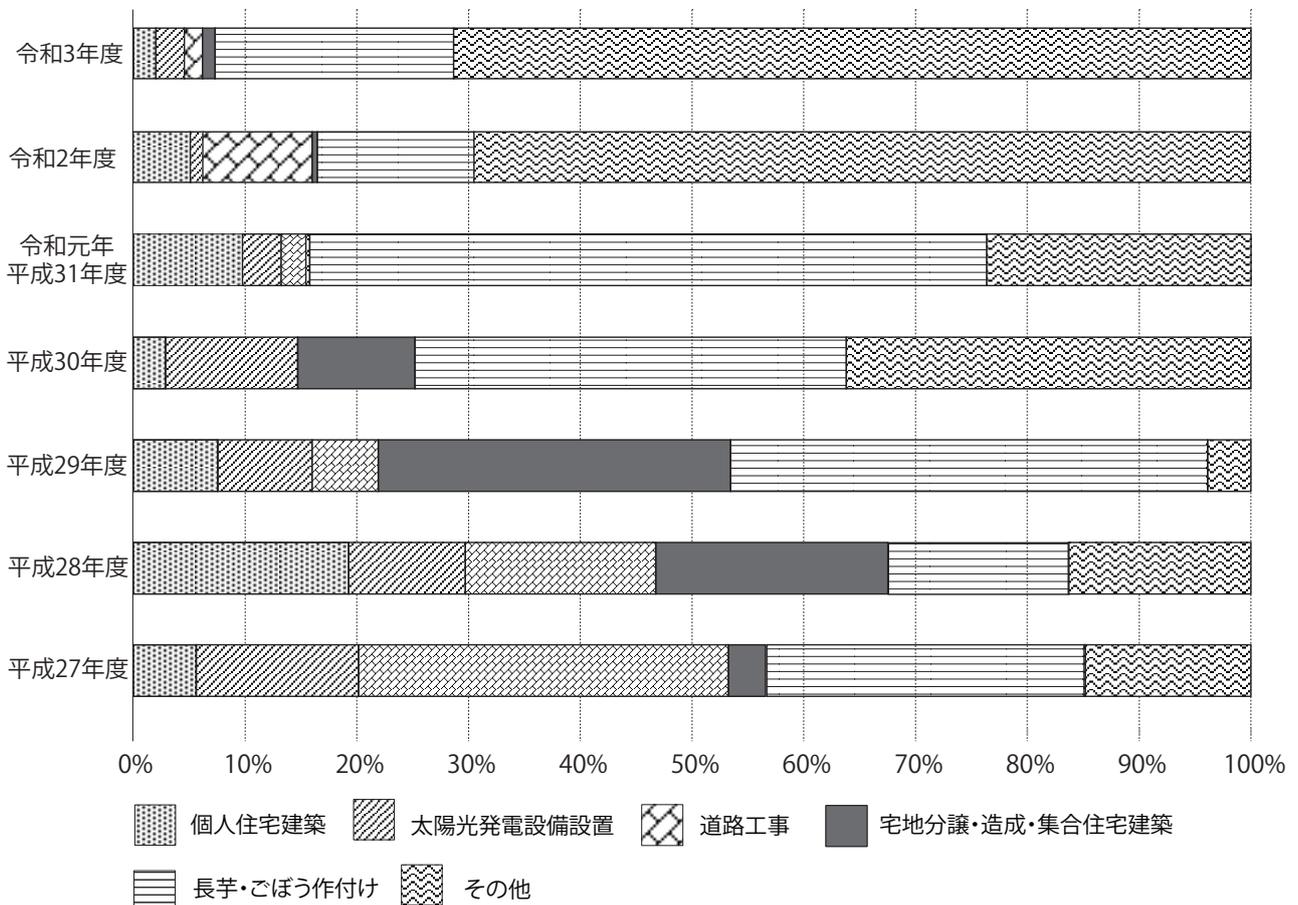
(2) 過年度との比較

令和 3 年度は令和 2 年度と比べて、調査件数は変わらず、調査面積はやや減少し、全体として昨年度とほぼ同規模の調査量である。八戸北インター第 2 工業団地開発関連の大規模な調査が昨年度に引き続いて行われた一方、個人住宅建築に伴う調査は令和 2 年度と比べて、件数で約 2 割減少し、面積で 6 割減少した。面積の減少が大きいのは本発掘調査が少なかったことによる。

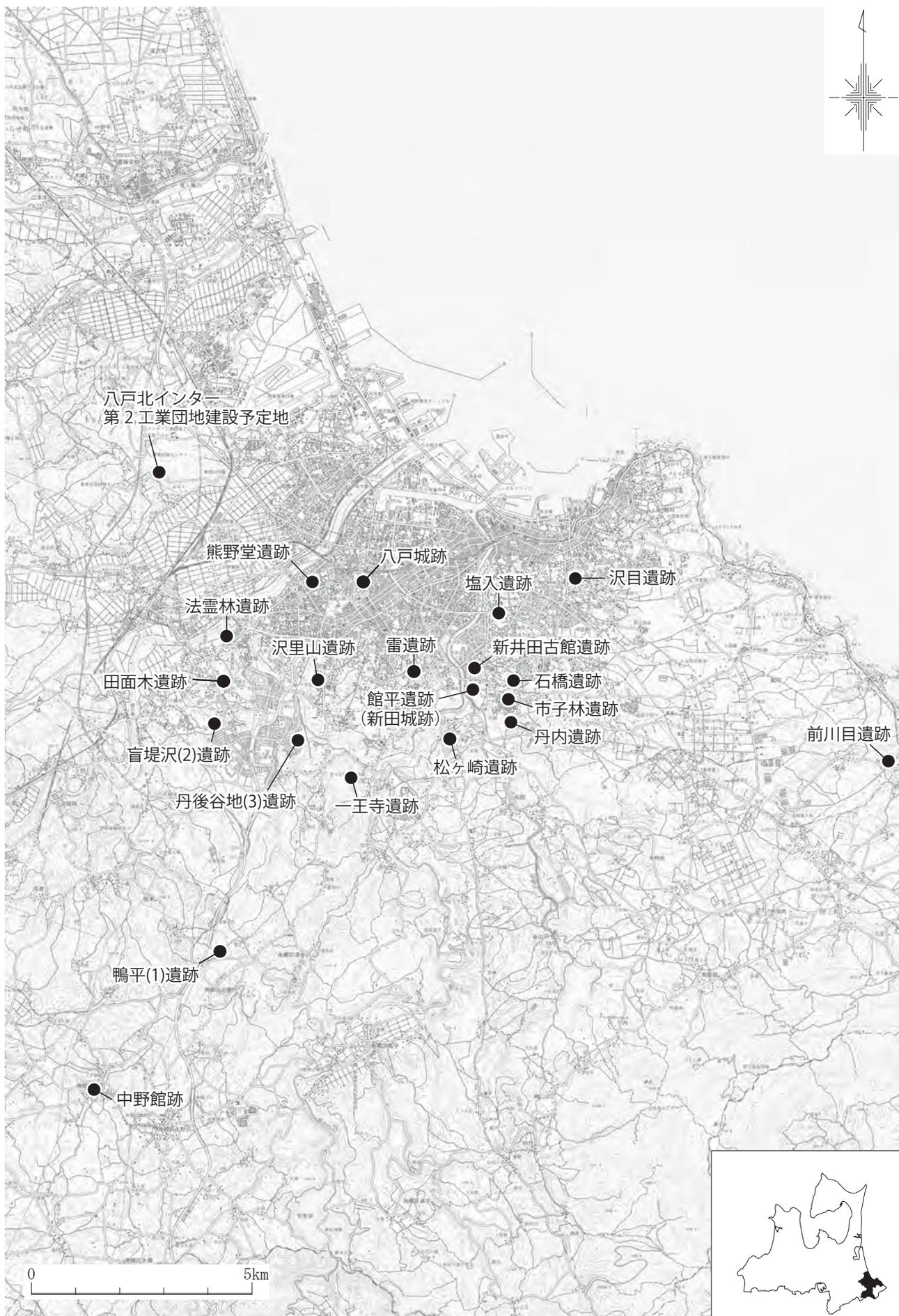
遺跡別の調査件数は八戸城跡・市子林遺跡が各 4 件で最も多かった。昨年度に多かった雷遺跡は 1 件に減少し、新たに市子林遺跡が増加した。調査が特定の遺跡に集中する傾向はやや弱まった。

調査原因	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度・令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)						
個人住宅建築	21	625	27	954	21	392	21	276	33	1,086	27	783	20	292
太陽光発電設備設置	9	1,616	10	518	3	438	10	1,146	9	401	5	170	4	369
道路工事	4	3,679	4	842	1	308	0	0	1	270	1	1,464	2	237
宅地分譲・造成、集合住宅建築	2	367	5	1,029	2	1,636	4	1,010	2	51	2	80	3	163
長芋・ごぼう作付	2	3,170	1	800	2	2,215	7	3,722	3	6,480	2	2,103	2	2,077
その他	9	1,661	12	809	9	201	13	3,491	8	2,538	5	10,807	11	10,363
合計	47	11,117	59	4,951	38	5,189	55	9,645	56	10,826	42	15,407	42	13,501

平成 27～令和 3 年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 27～令和 3 年度の調査原因ごとの調査面積の推移



令和3年度八戸市内発掘調査位置図 (S:12万分の1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別/主な時代
1	塩入遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年4月5日	7.8	散布地/縄文、平安
2	塩入遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和3年4月6日	8.8	散布地/縄文、平安
3	八戸北インター第2工業団地開発予定地	試掘調査	工業団地開発	令和3年4月6日～5月31日	3022.5	散布地・集落跡/縄文・平安
4	盲堤沢(2)遺跡①	試掘調査	寺院建築	令和3年4月8日	11.3	散布地/縄文
5	熊野堂遺跡①	試掘調査	建売住宅建築	令和3年4月8日	14.4	集落跡/奈良、平安
6	田面木遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年4月9日	9.2	集落跡/縄文、弥生、奈良、平安
7	松ヶ崎遺跡第21地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和3年4月12・13・27日	83.1	集落跡・貝塚/縄文、奈良、平安
8	新井田古館遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年4月15日	9.5	集落跡、城館跡/縄文、奈良、平安、中世、近世
9	市子林遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年4月16日	7.5	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
10	雷遺跡第13地点	試掘調査	宅地造成	令和3年4月19日～5月11日	98.0	散布地/縄文、平安
11	丹後谷地(3)遺跡①	試掘調査	送電用電気工作物建設工事	令和3年5月6・7日	12.0	散布地/縄文、平安
12	田面木遺跡第58地点	試掘調査	個人住宅建築	令和3年5月13日	23.0	集落跡/縄文、弥生、奈良、平安
13	前川目遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和3年5月17～20日	62.0	散布地/縄文
14	田面木遺跡第59地点	試掘調査	個人住宅建築	令和3年5月24・25日	20.5	集落跡/縄文、弥生、奈良、平安
15	丹内遺跡第3地点	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和3年6月18・21日	188.0	集落跡/縄文、奈良、平安
16	八戸城跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年6月23・25日	11.8	城館跡/縄文、弥生、古墳、近世
17	市子林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和3年7月5日	18.0	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
18	法霊林遺跡第9地点(1次)	試掘調査	個人住宅建築	令和3年8月19日	11.0	集落跡/縄文、奈良、平安
19	館平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年8月25日	4.0	集落跡・城館跡/縄文、平安、中世
20	沢目遺跡①	試掘調査	長屋住宅建築	令和3年9月8日	6.8	散布地/縄文
21	沢里山遺跡①	試掘調査	賃貸住宅建築	令和3年9月14・15・24日	58.5	散布地/縄文、奈良、平安
22	法霊林遺跡第9地点(2次)	試掘調査	接道設置工事	令和3年10月25・26日	21.0	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
23	鴨平(1)遺跡①	試掘調査	太陽光発電設備設置	令和3年11月1日	36.0	散布地/縄文
24	中野館跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和3年12月2・3日	16.0	城館跡/縄文、中世、近世
25	沢目遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和3年12月7日	7.0	散布地/縄文
26	市子林遺跡第25地点	試掘調査	個人住宅建築	令和3年12月14・15日	7.5	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
27	新井田古館遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和4年3月8日	12.0	集落跡、城館跡/縄文、奈良、平安、中世、近世
28	市子林遺跡④	試掘調査	個人住宅建築	令和4年3月18日	12.0	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
29	石橋遺跡第12地点	本発掘調査	長茅作付け	令和3年6月1日～11月10日	1300.0	集落跡/平安
30	田面木遺跡第59地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和3年6月11日～25日	25.7	集落跡/縄文、弥生、奈良、平安
31	法霊林遺跡第9地点(1次)(2次)	本発掘調査	個人住宅建築	令和3年9月1日～9日	42.4	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
32	松ヶ崎遺跡第11地点	本発掘調査	長茅作付け	令和3年9月1日～12月11日	777.0	集落跡・貝塚/縄文、奈良、平安
33	市子林遺跡第25地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和3年12月21日～12月28日	17.7	集落跡/縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世
34	一王寺遺跡	確認調査	史跡内容確認	令和3年6月1日～9月8日	564.0	集落跡/縄文
35	新田城跡(館平遺跡)	確認調査	保存目的の確認調査	令和3年7月1日～8月31日	266.0	集落跡・城館跡/縄文、平安、中世
36	八戸城跡第48地点	本発掘調査	祭器庫建築	令和3年4月6日～4月28日	123.9	城館跡/縄文、弥生、古墳、近世
37	八戸城跡第52地点	本発掘調査	道路改築	令和3年6月2日～7月16日	105.0	城館跡/縄文、弥生、古墳、近世
38	八戸城跡第53地点	本発掘調査	道路改築	令和3年8月11日～11月30日	132.0	城館跡/縄文、弥生、古墳、近世
39	笹ノ沢(2)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和3年6月1日～6月30日	1020.0	散布地・集落跡/縄文・平安
40	笹ノ沢(6)遺跡第1地点	本発掘調査	工業団地開発	令和3年6月24日～7月30日	1,268.0	散布地・集落跡/縄文・平安
41	平(2)遺跡	本発掘調査	工業団地開発	令和3年7月20日～10月29日	1674.0	散布地・集落跡/縄文・平安
42	笹ノ沢(6)遺跡第2地点	本発掘調査	工業団地開発	令和3年8月30日～9月10日 令和3年10月27日～12月21日	2,388.0	散布地・集落跡/縄文・平安

市内遺跡発掘調査事業

受託事業

IV 埋蔵文化財調査等

令和3年度八戸市内遺跡発掘調査一覧

2. 調査概要

(1) 主な試掘調査

①八戸北インター第2工業団地開発予定地 (p27-No.3)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢・笹ノ沢地内
担当職員：上ノ山 拓己・宇部 則保

調査概要：八戸北インター第2工業団地の開発に伴い、開発範囲のうち周知の埋蔵文化財包蔵地を中心とする地点を対象に試掘調査を行った。今年度は開発予定地内 23 か所で調査を実施し、任意で V・B'・D'・E'・F' 地点と付番した。

今年度の試掘で、対象範囲での調査を終了した。



八戸北インター第2工業団地予定地 遠景

a. 笹ノ沢 (2) 遺跡 (B' 地点)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢地内
検出遺構：土坑

出土遺物：縄文土器

調査概要：遺跡範囲のうち、平成 30 年度及び令和 2 年度に試掘調査を行わなかった地点にトレンチを設定して調査を行った。調査の結果、遺跡範囲の東部では 30～220cm 掘削したところで中礫浮石を含む暗褐色土層～黄褐色ローム層に達し、土坑 2 基を確認した。遺物は縄文土器が出土した。



笹ノ沢 (2) 遺跡 遺構検出状況 (B' 地点)

b. 笹ノ沢 (6) 遺跡 (D' 地点)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢地内
検出遺構：竪穴建物跡、溝状土坑

出土遺物：土師器

調査概要：本遺跡は、今回の確認調査の結果新規に登録された遺跡である。遺跡範囲にトレンチを設定して調査を行った。30～250cm 掘削したところ、中礫浮石を含む暗褐色土層～黄褐色ローム層に到達し、竪穴建物跡 1 棟と溝状土坑 4 基を確認した。遺物は、竪穴建物跡から土師器の破片が出土した。



笹ノ沢 (6) 遺跡 遺構検出状況 (D' 地点)

c. 杉子沢 (1) 遺跡 (V・E' 地点)

調査地：八戸市大字尻内町字杉子沢・字笹ノ沢地内

検出遺構：土坑、溝状土坑

出土遺物：土師器

調査概要：遺跡範囲にトレンチを設定して調査を行った。20～330cm 掘削したところ、ローム漸移層～灰白色火山灰層に到達し、土坑 1 基と溝状土坑 7 基を確認した。遺物は、土師器の破片が出土した。

一部のトレンチでは、既存建物の解体に伴うとみられる大型の攪乱を確認した。



杉子沢 (1) 遺跡 遺構検出状況 (E' 地点)

d. 笹ノ沢 (1) 遺跡 (F' 地点)

調査地：八戸市大字尻内町字笹ノ沢地内

検出遺構：溝状土坑

出土遺物：縄文土器

調査概要：遺跡範囲中央部にトレンチを設定して調査を行った。調査の結果、20～160cm 掘削したところでローム漸移層～黄褐色粘土層に達し、溝状土坑 12 基を確認した。また、遺構外から縄文時代早期中葉の明神裏Ⅲ式土器にみられる特徴を持つ土器片と、前期前葉の深鉢形土器 1 点が出土した。



笹ノ沢 (1) 遺跡 遺構検出状況 (F' 地点)



縄文土器片 (縄文時代早期中葉)



深鉢形土器 (縄文時代前期前葉)

(2) 内容確認調査

①館平遺跡 (新田城跡) 第 30 地点 (p27-No.35)

調査地：八戸市大字新井田字館平 15・17-1

担当職員：苧坪 祐樹

調査概要：

ア. 遺跡の概要

館平遺跡 (新田城跡) は、市の中心部から南東へ約 3.5km に所在し、新井田川とその支流である松館川が合流する地点の右岸、標高約 37m の段丘上に立地する。これまでの調査で縄文時代早期から近世までの複合遺跡であり、特に縄文時代早期中葉の白浜式土器の標式遺跡として著名である。また、文献資料によれば新田城は、根城南部氏の一族・重臣である新田氏が居城とした城館とされる。

イ. 調査に至る経緯

新田城跡本丸部分の公園整備に向けて、新田城跡が埋蔵文化財包蔵地である館平遺跡に含まれ、根城南部氏に関連する重要遺跡であることから、公園化が予定される本丸部分を平成 30 年度より 3 か年の計画で内容確認調査を実施している。

調査の方法は、調査対象面積約 15,300㎡を A・B・



SB21 掘立柱建物跡・SA2 堀跡検出

C区の3区に分け、トレンチ方式により調査を行う。今年度はC区を中心に、令和3年7月1日～同年8月31日まで内容確認調査を行った。調査面積は約266㎡である。

調査地点は遺跡中央からやや西側、標高約37mの新田城跡本丸部分の平坦地である。現況は畑地及び神社の境内地である。

ウ．検出遺構（3か年分）

【中世・近世】曲輪造成、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、炉跡、井戸跡、塀跡、区画溝跡

エ．出土遺物（3か年分）

【中世・近世】陶磁器、石製品、鉄製品、銅製品、金属生産関連遺物、銭貨

オ．調査成果

今年度の調査の結果、主に中世から近世にかけての遺構・遺物が検出された。また、中世から近世とみられる盛土整地層が検出されたことから、城郭期に曲輪造成に伴う大規模な地形の改変が行われたと考えられる。また、土塁や帯曲輪といった曲輪内部の構造の一端が確認でき、城内の土地利用の様子が明らかになった。



新田城跡主曲輪遺構配置図

(3) 本発掘調査

①松ヶ崎遺跡第 11 地点 (p27-No.32)

調査地：八戸市大字十日市字長根 13-1

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市庁から南東約 4km に位置し、新井田川とその支流の松館川に挟まれた標高 27～45m の台地上に立地する。

令和 2 年度までに八戸市教育委員会による 20 地点の調査と、青森県教育委員会による 4 地点の発掘調査が行われ、市内最大規模の縄文時代前～中期の集落跡と判明している。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡中央部に位置し、西から東へ下る緩傾斜地に立地し、現況は荒蕪地である。長芋作付けに伴い、平成 30 年 6 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。本地点西側は平成 13 年度に試掘調査が行われ、遺構が複数重複することが確認されている。未調査の東側を平成 30 年 6 月 14 日から 7 月 4 日に試掘調査を行ったところ、遺構密度が希薄であることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、開発範囲約 8,622㎡を 6 区画に分割し本発掘調査を実施することで合意した。令和 3 年度の調査期間は令和 3 年 9 月 1 日から 12 月 11 日、調査面積は約 777㎡である。

ウ．検出遺構

【縄文時代】 竪穴建物跡 7 棟、掘立柱建物跡 1 棟、土坑（墓）5 基、フラスコ状土坑 2 基、埋設土器 1 基、捨て場、ピット

【時期不明】 土坑 5 基

エ．出土遺物

【縄文時代】 縄文土器、石器、石製品、土製品

オ．調査成果

縄文時代中期の竪穴建物跡 7 棟・捨て場、縄文時代の土坑 7 基（フラスコ状土坑 2 基）・掘立柱建物跡 1 棟、時期不明の土坑 5 基などを検出した。

今年度調査区全域で、縄文時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡、土坑などが多数検出された。確認された遺構は縄文時代中期中葉が主体である。一部の竪穴建物跡や土坑などでは、廃絶後の凹地を利用して、土器が多数廃棄された様子も確認された。

また、調査区北西側では、縄文時代中期後葉の捨て場が広範囲で確認された。捨て場は、一部縄文時代中期中葉の竪穴建物跡と重複し、さらに北側に範囲が広がると考えられる。



松ヶ崎遺跡第 11 地点 調査区遠景

②石橋遺跡第 12 地点 (p27-No.29)

調査地：八戸市大字新井田字妻ノ神 37-1・37-2

担当職員：山田 貴博・宇部 則保

調査概要：

ア．遺跡の概要

八戸市庁から南東へ約 4km の八戸市新井田地区に所在し、新井田川右岸の標高約 47～72m の丘陵に立地する。

これまで 11 地点で発掘調査が行われており、縄文時代、平安時代、近世の遺構・遺物が確認されている。第 12 地点の調査において、竪穴建物跡をはじめとする平安時代の遺構が高密度かつ多数検出されたため、当該時期の集落が形成されていたと考えられる。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡の南東に位置し、現況は畑地である。長芋作付けに伴い、平成 30 年 9 月 5 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これに基づき、平成 30 年 10 月 22 日から 31 日に試掘調査を行ったところ、開発範囲全体に遺構が分布していることを確認した。これを受け、届出者と協議したところ、平成 31 年度から令和 3 年度の 3 か年で本発掘調査を実施することで合意した。令和 3 年度の調査期間は令和 3 年 6 月 1 日から 11 月 10 日、調査面積は約 1,300㎡である。

ウ．検出遺構

【平安時代】 掘立柱建物跡 4 棟、竪穴建物跡 16 棟、土坑 4 基、溝跡 2 条

【近世以降】 掘立柱建物跡 1 棟、土坑墓 2 基

【不明】 溝状土坑 5 基

エ．出土遺物

【平安時代】 土師器坏・甕・小型土器、須恵器甕、石器、石製品、鉄製品、鍛冶関係遺物、木製品、繊維製品、植物遺存体、動物遺存体

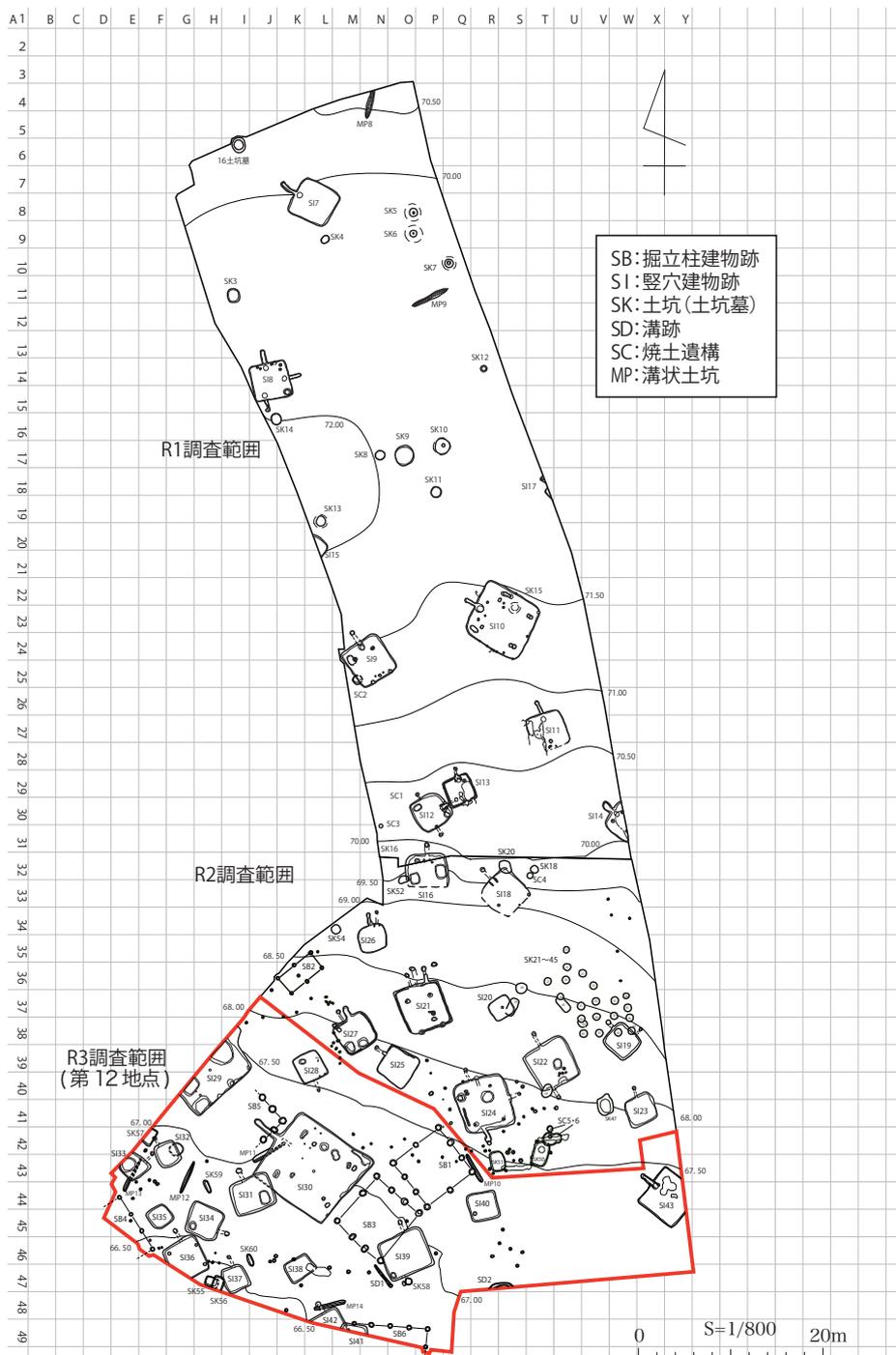
【近世以降】 陶磁器、銭貨、人骨

オ．調査成果

平安時代の竪穴建物跡が多数検出され、出土遺物の特徴から、10 世紀前半頃に集落が営まれていたことがわかった。令和 3 年度の調査では、約 100㎡の大型竪穴建物跡や、馬具などの鉄製品、大量の須恵器が出土し、拠点的な集落であったことがうかがえる。



石橋遺跡第 12 地点 調査区全景 (南から)



石橋遺跡第12地点 遺構配置図



SI30 竪穴建物跡 (北東から)



出土した馬具と考えられる鉄製品

③八戸城跡第 48 地点 (p27-No.36)

調査地：八戸市内丸二丁目 9

担当職員：山田 貴博

調査概要：

ア．遺跡の概要

馬淵川右岸の沖積低地に突き出した標高約 20m の段丘北縁に立地し、北側がその段丘崖となっている。遺跡の範囲は東西 580m、南北 540m、総面積 229,000㎡に及ぶ。現況は、遺跡西側に八戸市庁・八戸市公会堂・三八城公園等の公共施設があり、東側は宅地化している。これまで、52 地点の発掘調査が行われており、近世城郭期の遺構の他、縄文時代・弥生時代・古墳時代・奈良時代・平安時代の遺構・遺物が確認される複合遺跡として周知されている。

イ．調査に至る経緯

調査対象地は遺跡中央北側、^{おがみ} 龍神社の敷地内に位置している。祭器庫建築に伴い、令和 2 年 7 月 10 日付で文化財保護法第 93 条第 1 項に基づく届出が八戸市教育委員会に提出された。これに基づき、同年 8 月 19 日から 21 日に試掘調査を行ったところ、竪穴建物跡や溝跡などの遺構を確認した。これを受け、届出者と協議したところ、令和 3 年度に本発掘調査を実施することで合意した。

調査期間は令和 3 年 4 月 5 日から 4 月 28 日、調査面積は約 123.9㎡である。

ウ．検出遺構

【平安時代】 竪穴建物跡 2 棟、土坑 5 基、溝跡 1 条

【近世以降】 掘立柱建物跡 1 棟

【不明】 溝状土坑 8 基

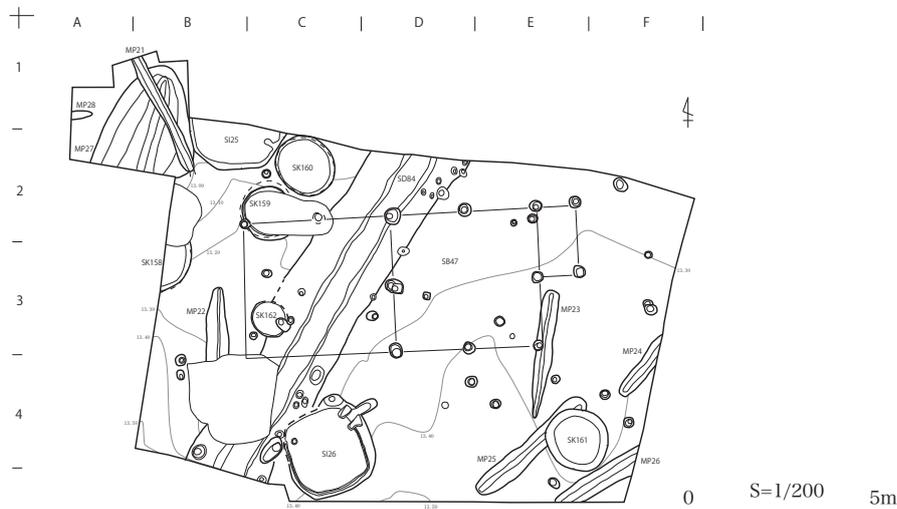
エ．出土遺物

【平安時代】 土師器甕、石器、石製品、鉄製品

【近世以降】 陶磁器、銭貨

オ．調査成果

出土遺物から、10 世紀中葉～11 世紀前葉の平安時代後半期の集落の一部と考えられる。土坑は集落に伴うもので、溝跡は地割区画のものと考えられる。本地点は、標高約 15m の低位段丘上に位置する、環濠集落または防御性集落と考えられる。



八戸城跡第 48 地点 遺構配置図



SI26 竪穴建物跡 (南東から)



SD84 溝跡 (北東から)

3. 発掘調査報告書

令和 3 年度には、発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 3 冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸城跡第 48 地点 - 祭器庫建築に伴う発掘調査報告書 -	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 179 集	山田貴博	令和 4 (2022) 年 3 月 15 日
所収遺跡名：八戸城跡第 48 地点					
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 45	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 180 集	苧坪祐樹・上ノ山拓己・ 宇庭瑞穂・山田貴博・ 宇部則保	令和 4 (2022) 年 3 月 25 日
所収遺跡名：丹内遺跡第 3 地点、雷遺跡第 13 地点、市子林遺跡第 25 地点、田面木遺跡第 58・59 地点、 法霊林遺跡第 9 地点、松ヶ崎遺跡第 21 地点、新田城跡（館平遺跡第 30 地点総括）					
3	八戸市内遺跡発掘調査報告書 46 史跡は川石器時代遺跡 一王寺遺跡内容確認調査概要報告書	八戸市埋蔵文化財 調査報告書	第 181 集	宇庭瑞穂	令和 4 (2022) 年 3 月 25 日
所収遺跡名：一王寺遺跡					

4. 情報公開

(1) 令和 3 年度遺跡調査報告会

令和 3 年度に実施した発掘調査の主な成果を報告した。令和 3 年度は、調査報告（1 階体験交流室）の聴講者を事前申込による先着 50 名と限定した。

また、昨年度制定した「是川縄文の日」の 11 月 3 日（火）にも報告遺跡の出土品展示を行った。

開催日時：令和 3 年 11 月 13 日（土）

14：00～15：30

報告内容：

【報告遺跡】14：00～15：30

- ・平 (2) 遺跡ほか（下長地区 縄文時代）
- ・一王寺遺跡（是川地区 縄文時代）
- ・石橋遺跡（大館地区 平安時代）
- ・新田城跡（大館地区 戦国時代）

【遺物展示】9：00～17：00

- ・平 (2) 遺跡の縄文土器・石製品など
- ・一王寺遺跡の縄文土器・石器など
- ・石橋遺跡の土師器・須恵器・鉄製品など
- ・新田城跡の陶磁器・金属生産関連遺物など



出土品展示会場の様子



調査報告の様子

(2) 現地説明会・発掘体験

令和3年度に内容確認調査を行った一王寺遺跡
と新田城跡、本発掘調査を行った石橋遺跡で、現
地説明会もしくは発掘体験を行った。

○一王寺遺跡現地説明会・発掘体験

【現地説明会】

開催日時：令和3年7月24日（土）
10：30～11：30

開催場所：八戸市大字是川字一王寺 2-3、3、4-3、
5-1、6-1、6-2、6-3、7-1、7-2、8-1、
8-7

参加者数：21名

【発掘体験】

開催日時：令和3年8月7日（土）
14：00～15：30

開催場所：八戸市大字是川字一王寺 5-1
参加者数：7名



一王寺遺跡現地説明会の様子

○新田城跡現地説明会

開催日時：令和3年7月31日（土）
10：00～11：00

開催場所：八戸市大字新井田字館平 15、17-1
参加者数：55名

○石橋遺跡現地説明会

開催日時：令和3年8月21日（土）
1回目 10：00～11：00
2回目 14：00～15：00

開催場所：八戸市大字新井田字妻ノ神 37-1、37-2
参加者数：1回目 21名、2回目 13名



一王寺遺跡発掘体験の様子



石橋遺跡現地説明会の様子



新田城跡現地説明会の様子

5. 是川遺跡美術工芸品保存修理事業

- 事業計画** 重要文化財「是川遺跡出土品」の保存修理及び保存台の製作を行う。(第1期：平成24～28年度、第2期：平成29～令和2年度、第3期：令和3～6年度)
- 期 間** 令和3年6月4日～令和4年3月10日
補助事業終了期間とする。
- 概 要** 平成23年に是川遺跡出土品330点が重要文化財に追加指定された。この指定品には多数の木製品や漆製品が含まれており、発掘調査後に保存処理を実施しているが、欠損部分や脆弱な部分が認められる。土器・石器等には石膏の充填、接合部の剥離などが認められる。資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用にあつため、保存修理を実施する。また、広く周知するため、事業内容を紹介するリーフレットを作成・配布する。なお、本事業では八戸市博物館所蔵の丹後平古墳群出土品の保存修理も実施している。
- 内 容** 台付土器3点、漆製品8点、計11点の保存修理を実施した。
- 受託者** 株式会社吉田生物研究所(京都府)
- 事業費** 10,056千円(50%国庫補助。丹後平古墳群出土品にかかる費用を含む。)
- 繰越分** 令和2年度分は、令和4年3月31日に完了。



浅鉢形土器修理前



欠失部分に樹脂を充填



補彩後、修理完了

是川遺跡出土品 保存修理状況

6. 八戸市内遺跡出土鉄製品保存処理

- 事業計画** 過去に八戸市内の遺跡から出土した鉄製品の保存処理を実施する。
- 期 間** 令和3年6月4日～令和4年3月25日
- 概 要** 鉄製品計5点の再保存処理を実施した。
- 受託者** 株式会社吉田生物研究所(京都府)
- 事業費** 913千円(50%国庫補助)
- 繰越分** 令和2年度分は、令和4年3月31日に完了。



鉄鏃の保存処理完了

八戸市内遺跡出土鉄製品 保存処理状況

7. 埋蔵文化財活用活性化事業

- 事業計画** 平成25年度から30年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を、平成31・令和元年度より市単独事業で継続している事業の3年目である。
- 期 間** 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- 概 要** 収蔵資料の体系化を目的とし、収蔵品のデータベース化及び再整理・再収納を実施した。
- 事業費** 6,236千円
- 内 容** 令和3年度発掘調査で出土した資料、計241点のデータベース化を行った。

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。

平成 27 年度に「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」を策定し、平成 29 年度には、是川石器時代遺跡を構成する 3 遺跡のうち、内容確認が最も進んでいる中居遺跡の整備を第 1 期とした「史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定した。平成 30 年度には、第 1 期整備に伴う整備対象箇所の地形測量と基本設計を実施している。令和元年度からは、第 1 期整備基本計画に基づいて、史跡内に既存する建物の解体撤去工事と、撤去箇所における史跡の現状確認や保護盛土のための表土厚確認等を目的とした発掘調査を進めている。

令和 3 年度は、歴史民俗資料館（昭和 49 年築、延床面積 408.22㎡、鉄筋コンクリート 2 階建）地上部分を解体した。工事は、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定に基づく史跡の現状変更の申請を行い、国からの許可を得るとともに、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産としての遺産影響評価を検討した上で行った。解体撤去工事は当館職員立会いのもと慎重に進め、史跡のき損防止に努めた。

令和 4 年度は、歴史民俗資料館の地下部分解体撤去工事と発掘調査、令和 5 年度工事に係る実施設計を進める計画となっている。



歴史民俗資料館



建物の解体



地上部の撤去完了



土間コンクリートの撤去

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

①ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面積 約 13,700㎡
期間 4月20日～10月31日
受託者 八戸市森林組合
事業費 1,155千円

②除草（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面積 約 15,800㎡
期間 5月1日～9月30日
受託者 社会福祉法人ユートピアの会
事業費 2,420千円

③除草（一王寺遺跡地内）

面積 約 68,100㎡
期間 5月28日～10月31日
受託者 株式会社根城グリーン建設
事業費 2,530千円



除草するヤギ

3. 一王寺遺跡内容確認調査

調査地：八戸市大字是川字一王寺 2-3 の一部、3 の一部、4-3 の一部、5-1 の一部、6-1、6-2、6-3、7-1 の一部、7-2 の一部、8-1 の一部、8-7 の一部

担当職員：宇庭 瑞穂・小笠原 善範

検出遺構：竪穴建物跡 25 棟、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 23 基（フラスコ状土坑 1 基）、土坑墓 9 基、溝状土坑 2 基、柱列 1 条、溝跡 1 条、炉跡・焼土遺構 4 基、埋設土器 2 基、性格不明遺構 3 基、捨て場 2 か所、ピット群

出土遺物：縄文土器（前期後葉～後期中葉）、弥生土器、土師器、土製品、石器、石製品など

調査概要：

一王寺遺跡は、中居遺跡・堀田遺跡を含む「史跡是川石器時代遺跡」の一つで、縄文時代前期から後期までの集落跡である。

史跡是川石器時代遺跡第 1 期整備計画に基づき、一王寺遺跡の遺構分布確認調査を令和元年度から 6 年計画で実施しており、本年度はその 3 年目である。

今回の調査では、約 8,000㎡を対象に調査を行った。縄文時代中期前葉から後期前葉までの竪穴建物跡や土坑（墓）などの遺構を検出した。

調査区南側で縄文時代後期の捨て場、調査区北側の広い範囲で縄文時代前期後葉から中期中葉までの捨て場とみられる盛土が分布することを確認した。捨て場からは、縄文土器・石器などのほか、縄文時代中期中葉とみられる土面も出土している。



231 トレンチ捨て場（盛土） 遺物出土状況（南から）

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和3年度是川縄文館運営協議会

期日 【第1回】令和4年3月8日(火) 13:30～

会場 是川縄文館 1F 体験交流室

委員 岡村 道雄(会長) 石川 宏之(副会長)
高田 和徳 山下 治子 川口 桂子 鈴木 規夫

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・博物館経営・広報等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。各回とも岡村会長による議事進行で協議が行われた。第1回では、令和2年度事業報告とアンケート集計結果に関する質疑があったほか、世界遺産登録後の地域連携についての意見や、特別展・企画展の内容等について意見・助言があった。



運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第10回】令和4年3月7日(月) 14:00～

会場 是川縄文館 1F 体験交流室

委員 岡村 道雄(会長) 高田 和徳(副会長)
辻 誠一郎 馬場 光久 ※オブザーバー：
青森県教育委員会文化財保護課

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、基本方針、計画、内容等を定めることを目的に有識者による検討を行う委員会。第10回は令和2年度の事業報告及び令和4年度の事業案をもとに会議・検討が進行した。そのほか、特に第1期整備における中居遺跡の墓域の復元方針について議論があった。



第10回整備検討委員会

(3) 令和3年度是川縄文館懇談会

期日 令和4年3月17日(木) 10:00～

会場 是川縄文館 1F 体験交流室

出席者 田中町内会 八戸縄文保存協会
是川文化財愛護会 縄文是川ボランティア
是川縄文館職員

概要 是川縄文館の近隣町内組織及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。令和3年度の事業報告、令和4年度事業計画等の説明をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、一王寺遺跡の発掘内容などについて質問が出された。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

月/日	事項	月/日	事項
4/2	取材:東奥日報社(2人)/デーリー東北新聞社(1人)/読売新聞社(1人)	6/5	これかわ考古学クラブ①「バックヤードツアー」(14人) 見学:八戸縄文保存協会(1人)
4/3	取材:NHK青森放送局(1人)	6/6	見学:八戸縄文保存協会(2人)
4/5	視察:青森県世界文化遺産登録推進室(3人)	6/8	見学・円筒土器作り体験:向陵高等学校1~3学年(30人) 見学:個人(3人)
4/8	下見:八戸市議会(1人)	6/8	取材:(株)ピーエフエム(1人)
4/9	見学:田野畑ふる里の会(5人)/八戸縄文保存協会(1人) 視察:八戸市議会(2人)	6/10	見学:個人(1人)/八戸縄文保存協会(1人)/(株)西遊旅行(11人) 個人(2人)
4/10	取材:東奥日報社(1人)/八戸支社(1人)	6/12	サポートスタッフ研修会④(16人) 取材:東奥日報社(1人)/青森県立八戸商業高等学校3学年(3人)
4/15	視察:教育委員会(3人)	6/13	研修:国立弘前大学青森エクスカッション(学部越境型地域志向科目)(11人) 見学:八戸縄文保存協会(2人)
4/17	見学:個人(2人)/(株)日本橋トラベラーズクラブ(5人) 下見:八戸市立函南小学校(3人)	6/13	取材:フォトアトリエ Art Bridge(2人)
4/20	見学:(株)ユーラシア企画(14人) 視察:八戸市まちづくり文化スポーツ部(5人) 取材:(一財)VISITはちのへ(4人)	6/15	見学:(株)ワールド航空サービス(15人) 取材:(株)IBC岩手放送(4人)/朝日新聞社(1人)
4/21	見学:個人(2人) 下見:(株)JTB青森支店(8人)	6/17	見学:マリアンハウス幼稚園(37人)/(株)ユーラシア旅行社(17人)
4/23	見学:青森県立森田養護学校高等部3学年(21人)	6/18	見学:(株)西遊旅行(6人)
4/24	見学:日本国史学会(41人)/八戸縄文保存協会(1人)	6/19	考古学講座②(67人) 見学:近畿日本ツーリスト(株)(15人)
4/29	見学:デーリー東北新聞社(1人)	6/20	見学:個人(12人)
4/30	見学:八戸市立豊崎小学校1~6学年(63人)	6/22	取材:(株)えんれいしゃ(2人)
5/3	見学:三八五交通(株)(2人)	6/23	見学:三沢市立おおぞら小学校6学年(12人) 視察:青森県企画政策部交通政策課(2人) 下見:八戸第二中学校(1人)
5/7	見学・滑石の勾玉作り体験:五戸町立上市川小学校6学年(27人)/ 五戸町立切谷内小学校6学年(11人)	6/25	サポートスタッフ研修会⑤(17人)
5/8	サポートスタッフ研修会①(21人)	6/26	サポートスタッフ研修会⑥(6人) 取材:東奥日報社(2人)
5/11	見学:(株)ワールド航空サービス(9人)	6/27	取材:早稲田システム開発(株)(1人)/(株)NHKエンタープライズ 東北支社(1人)
5/12	見学:個人(1人) 視察:八戸市教育委員会社会教育課(1人)	6/30	見学:七戸南公民館(18人)/国際交流サービス(20人)
5/13	見学:八戸縄文保存協会(1人) 取材:(株)トドープレス(3人)	7/1	八戸是川石器時代遺跡保存活用連絡会議(10人) 講座・体験・見学:五戸町立五戸小学校6学年(74人) 見学:個人(1人)/遠野市立博物館(4人)
5/14	見学:青森市立北中学校3学年(42人) 取材:八戸市広報統計課(2人)	7/2	見学・滑石の勾玉作り体験:田子町立田子小学校6学年(31人) 見学:八戸縄文保存協会(1人) 視察:鹿角地域振興局(4人) 下見:青森県立八戸第二養護学校(1人)
5/15	考古学講座①(41人)	7/3	合掌土偶作り教室(20人) 取材:(株)エフエム青森(2人)
5/18	取材:読売新聞社八戸支局(1人)	7/6	取材:東奥日報社八戸支社(1人)
5/19	見学:岩手県立種市高等学校(12人) 視察:青森市議会事務局(4人) 取材:デーリー東北新聞社(1人)	7/8	視察:(一財)VISITはちのへ企画マーケティング広報プロモーション課(12人) 見学:個人(2人)
5/21	見学:千葉学園高等学校1学年(104人)	7/9	特別展「是川遺跡」内覧会:報道機関(6人)・ボランティア(19人) 見学:クラブツーリズム(19人)
5/22	サポートスタッフ研修会②(23人)	7/10	学芸員とまわる是川縄文館バックヤードツアー(24人) 開館10周年記念講演(62人) 取材:東奥日報社/デーリー東北新聞社/読売新聞八戸支局/青森テレビ
5/23	見学:(一社)十和田奥入瀬観光機構(3人)	7/11	バックヤードツアー・体験:ガールスカウト青森県第4団(6人) 学芸員とまわる是川縄文館バックヤードツアー(17人)
5/27	見学:八戸縄文保存協会(1人) 取材:青森放送(株)(1人)/(株)青森テレビ(2人)/東奥日報社 (1人)/デーリー東北新聞社(1人)		
5/29	これかわ考古学クラブ「開講式」(11人) サポートスタッフ研修会③(27人) 取材:東奥日報社(1人)/デーリー東北新聞社(1人)		
5/30	見学:八戸縄文保存協会(1人)		
6/1	見学・滑石の勾玉作り体験:新郷村立新郷小学校6学年(21人) 視察:八戸市議会(2人) 取材:合同会社 ミミック(5人)		
6/2	見学・火起こし体験:八戸市立島守小学校6学年(10人)		
6/4	見学・滑石の勾玉作り体験:こども支援センター(10人)		

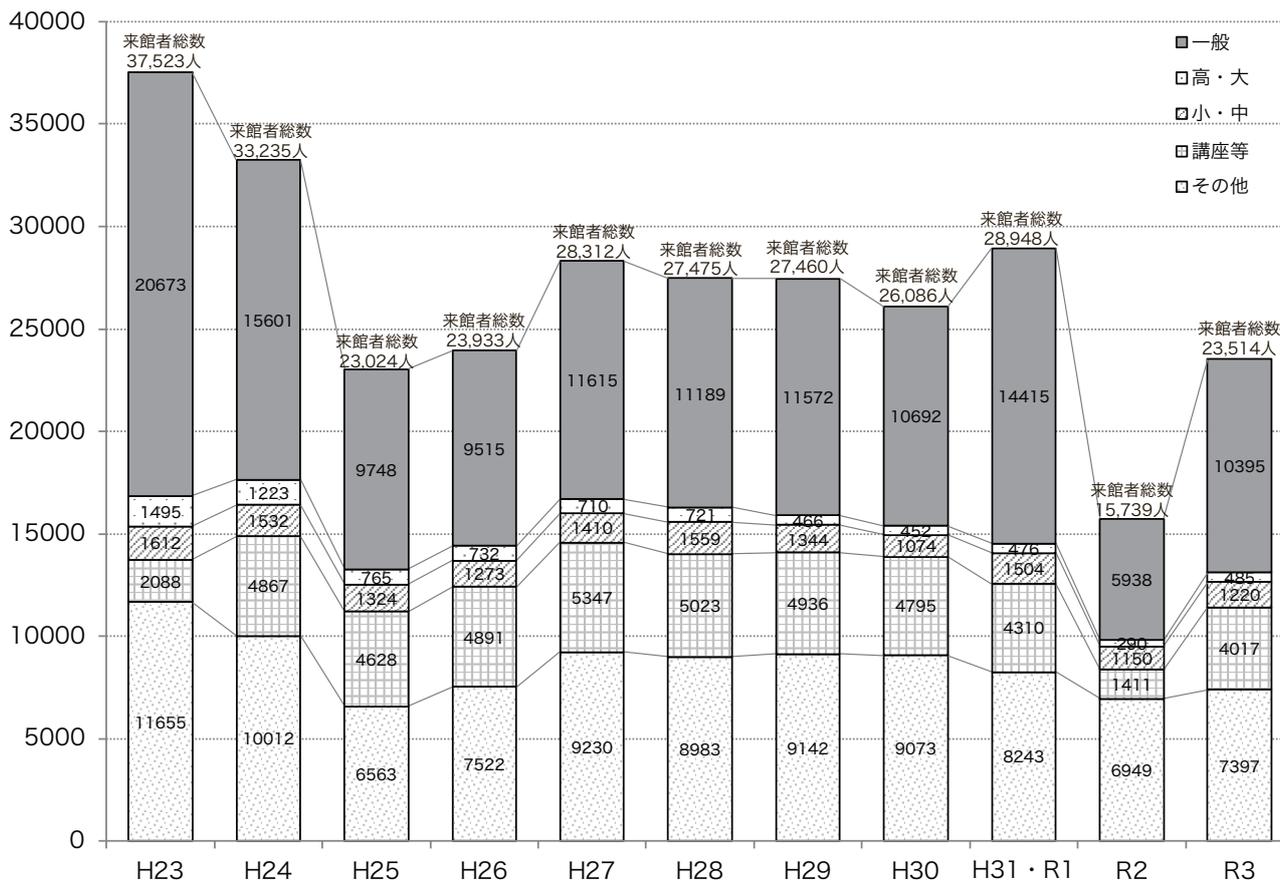
月/日	事項	
	学芸員とまわる是川遺跡ツアー (21 人)	取材：(株) ATV ビジョン (2 人)
	取材：青森放送 (株) (2 名) / 東奥日報社 (1 人)	八戸商業高校課題研究 7 班主催 “謎解き縄文館 with いのるん” (13 人)
7/13	取材：(株) クリエイティブスタッフ (4 人)	8/10 見学：グローバルピア八戸南 (12 人)
7/14	取材：八戸市広報統計課 (1 人)	八戸商業高校課題研究 7 班主催 “謎解き縄文館 with いのるん” (6 人)
7/15	見学・滑石の勾玉作り体験：八戸市立城北小学校 6 学年 (82 人)	8/11 見学：個人 (4 人)
	取材：函館新聞社 (1 人)	取材：(株) RAB 企画 (3 人)
7/16	見学・土製ペンダント作り：八戸市立中居林小学校 6 学年 (64 人)	8/14 パラリンピック聖火フェスティバル (スポーツ振興課)
	見学：八戸市立城下小学校 6 学年 (44 人)	特別展ギャラリートーク (9 人)
	取材：(株) ビーエフエム (1 人)	8/15 パラリンピック聖火フェスティバル採火式 (85 人)
7/17	東北 DC 特別企画バックヤードツアー① (14 人)	見学：縄文是川ボランティア (1 人)
	特別展ギャラリートーク (11 人)	8/17 見学：八戸縄文保存協会 (3 人)
	見学：八戸縄文保存協会 (2 人) / 野辺地町立馬門小学校 (53 人)	8/18 見学：デイスサービスふきのとう (18 人) / 八戸市博物館 (4 人)
7/18	東北 DC 特別企画バックヤードツアー② (17 人)	視察：青森県教育庁文化財保護課 (7 人)
	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	8/19 見学：デイスサービスふきのとう (7 人)
7/20	見学・土製ペンダント作り体験：八戸市立第二中学校 1 学年 (107 人)	下見：青森県立むつ養護学校 (3 人)
	出前 体験：バラ採火式練習 八戸盲聾学校 (10 人)	取材：(株) PMA トライアングル (4 人) / (株) グレイル (5 人)
	取材：陸奥新報社 (1 人)	8/21 是川遺跡クリーンデー (17 人)
7/21	取材：川口印刷工業 (株) (2 人)	石橋遺跡現地説明会 (34 人)
7/22	小・中学生向け特別展ギャラリートーク (5 人)	見学・滑石の勾玉作り体験：湊児童館 (36 人)
	見学：高山元延議員 (1 人) / 上条幸哉市議ご一行様 (19 人)	見学：個人 (2 人)
7/23	小・中学生向け特別展ギャラリートーク (9 人)	下見：八戸市立東中学校 (1 人)
	見学：個人 (2 人) / 八戸縄文保存協会 (6 人) / 東日本交通 (株) (21 人)	取材：デーリー東北新聞社 (1 人)
7/24	一王寺遺跡発掘調査現地説明会 (21 人)	8/22 見学：(株) 西遊旅行 (6 人)
	特別展ギャラリートーク (13 人)	8/25 体験：八戸市立是川小学校 4 学年 (41 人)
	見学：新極真会青森支部鳴海道場 (79 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	取材：(株) 青森テレビ 八戸支社 (2 人)
7/25	八戸縄文保存協会 (1 人)	8/26 八戸中央ライオンズクラブ研修会「世界遺産 是川石器時代遺跡」講師：市川主査 (16 人) (於：八戸グランドホテル)
7/27	世界遺産登録パブリックビューイング (57 人)	八戸工業大学講演会「世界遺産！縄文遺跡」講師：小久保副参事 (47 人)
7/28	見学：中村展設 (株) (2 人)	見学：豊田旅行 (13 人)
7/30	見学・滑石の勾玉作り体験：ひのでこども園 (22 人)	8/27 体験：八戸市立是川小学校 5 学年 (39 人)
	見学：(一社) 日本最高峰伝統文化保護研究協会 (1 人)	8/28 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
7/31	新田城跡現地説明会 (55 人)	8/29 見学：(株) 西遊旅行 (11 人) / Good Food SARAH (2 人)
	特別展ギャラリートーク (11 人)	8/30 見学：縄文是川ボランティア (1 人) / (株) ワールド航空サービス (16 人)
	見学：(一社) 世界文化遺産地域連携協議会 (6 人) / (株) SOA ソリューションズ (7 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	8/31 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
	取材：東奥日報社八戸支社 (1 人) / 青森放送 (株) 八戸支社 (1 人)	取材：ジャパントラベル (株) (4 人)
8/1	見学：個人 (2 人) / 八戸縄文保存協会 (3 人)	10/1 見学・講話：鶴盟大学「縄文是川と世界遺産」講師：工藤館長 (21 人) (於：是川縄文館)
8/2	見学：東青葉旬会 (8 人)	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
8/3	取材：次元 foto (1 人)	10/2 これかわ考古学クラブ③「縄文土器をつくってみよう！」(16 人)
8/4	視察：青森県議会議員 (1 人)	見学・火起こし体験：個人 (5 人)
8/5	見学：北星交通 (株) (6 人)	取材：(株) 企作土舎 (2 人)
	取材：青森県企画政策部交通政策課航空グループ (3 人)	10/4 見学・滑石の勾玉作り体験：八戸市立高館小学校 5・6 学年 (63 人)
8/6	見学：八戸縄文保存協会 (2 人)	見学：(有) スタジオ大島 (1 人)
8/7	これかわ考古学クラブ②「一王寺遺跡について」(15 人)	下見：八戸工業大学第一高校 (1 人)
	特別展ギャラリートーク (4 人)	10/5 見学：クラブツーリズム (株) (17 人)
	一王寺遺跡発掘体験 (12 人)	10/6 下見：八戸市立南郷小学校 (1 人)・(一社) 東北観光推進機構 (1 人)
	見学：個人 (1 人)	10/7 取材：テクテク編集部 (2 人)
8/8	小・中学生向け特別展ギャラリートーク (5 人)	10/8 見学・講話：鶴盟大学「縄文是川と世界遺産」講師：工藤館長 (23 人) (於：是川縄文館)
	見学：個人 (2 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	見学：クラブツーリズム東京 (22 人)・八戸市立南郷小学校 5・6 学年 (36 人) / 個人 (4 人)
	下見：八戸市湊児童館 (1 人)	10/9 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
8/9	見学：縄文是川ボランティア (1 人) / 八戸縄文保存協会 (2 人)	

月/日	事項	
10/10	これかわ考古学クラブ補講 (2 人) 見学: (株) 西遊旅行 (10 人)	クラブツーリズム (株) (13 人) 取材: デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社 (1 人) / 八戸市広報紙 (1 人)
10/12	合掌土偶作り体験: 鳴盟大学 (34 人) 見学: クラブツーリズム (株) (19 人)	11/5 見学: 深浦町立修道小学校 6 学年 (16 人) / 柏崎友好会 (24 人) / 八戸市立豊崎中学校 1 学年 (4 人) / クラブツーリズム (株) (18 人) / (株) 池田介護研究所 (23 人) / クラブツーリズム (株) (20 人) 視察: 八戸圏域水道企業団 (4 人)
10/13	見学: 個人 (3 人)	研修: 鹿角市教育委員会 大湯ストーンサークル館 (17 人) / 三八地域 県民局 (23 人)
10/14	見学: 八戸工業大学第一高等学校 3 学年 (84 人) / 夏坂写真館 (1 人) / 退教互和賀地区会 (15 人)	取材: 創創舎 (3 人)
10/15	是川中学校テラコッタ野焼き指導 (於: 是川中学校) 秋季企画展「装い一身を飾る人びと」内覧会: 報道機関 (3 人)・ ボランティア (16 人) 下見: 青森市立野内小学校 (1 名)	11/6 企画展ギャラリートーク (7 人) 企画展考古学講座 (60 人) 見学: 青森県総合販売戦略課 (5 人) / 弘南バス (株) (17 人)
10/16	縄文土器作り講座① (19 人) 企画展ギャラリートーク (7 人) 見学: 弘南バス (株) (16 人) / 個人 (3 人) / クラブツーリズム (株) (20 人)	取材: (株) サイクロイド (3 人) 11/7 考古学クラブ補講 (6 人) 見学: 弘南観光 (株) (12 人) / クラブツーリズム (株) (16 人) / 八戸 縄文保存協会 (1 人) / (株) 阪急交通社 (21 人)
10/17	見学: (株) 西遊旅行 (7 人) / 弘南バス (株) (15 人) / 個人 (5 人) / 八戸縄文保存協会 (2 人)	下見: NHK 国際放送局 (2 人)
10/19	合掌土偶作り体験: 鳴盟大学 (33 人) 見学: 青森 MICHINOKU 通訳ガイドの会 (3 人) / 八戸縄文保存協会 (2 人) / (株) JTB ガイアレック (11 人) / 二戸地域振興センター (8 人) 取材: (株) 八戸テレビ放送 (2 人)	11/9 出前 講座: 「世界遺産へ GO ! 是川遺跡から学ぶ JOMON」市川主査・ 佐藤主事・落合主事・菊地主事 (99 人) (於: 是川中学校) 講座: 見学: 八戸市総合政策部市民連携推進課 「是川縄文館と世界遺産」 小久保副参事 (18 人) 見学: (株) 阪急交通社 (21 人) / じゃもう会 (11 人) / クラブツ ーリズム (株) (19 人) / クラブツーリズム (株) (18 人) 取材: 青森朝日放送 (株) (8 人) / (株) テレビ岩手 (5 人)
10/20	見学: 弘南バス (株) (21 人)・つがる市立瑞穂小学校 6 学年 (39 人) / (株) ユーラシア旅行社 (15 人)	11/10 見学: 弘南バス (株) (20 人) / クラブツーリズム (株) (15 人) 取材: 青森県庁観光企画課 (5 人)
10/21	見学・滑石の勾玉作り体験: 八戸市立根城小学校 6 学年 (64 人) 見学: (株) 道新サービスセンター (22 人) / クラブツーリズム (株) (19 人) / ポストタクシー (株) (2 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)	11/11 見学・滑石の勾玉作り体験: 八戸市立是川小学校 1 学年 (28 人) 見学: (株) ワールド航空サービス (9 人) / 八戸市立第三中学校 2 学年 (5 人)
10/22	見学・滑石の勾玉作り体験: 三沢市立三沢小学校 3 学年 (80 人) 見学: 八戸縄文保存協会 (1 人) / 八戸ポータルミュージアムはっち (4 人) / 八戸市立江陽中学校 1 学年 (6 人) / クラブツーリズム (株) (20 人) / クラブツーリズムカルチャー (23 人)	11/12 見学・滑石の勾玉作り体験: 八戸市立三条小学校 6 学年 (62 人) / 八戸 市立柏崎小学校 6 学年 (41 人) 取材: 朝日新聞社 (1 人) / 東奥日報社 (1 人) / デーリー東北新聞社 (1 人) / 青森放送 (株) (1 人) / 読売新聞社 (1 人)
10/23	縄文土器作り講座② (18 人) 企画展ギャラリートーク (8 人) 見学: 弘南バス (株) (9 人) / ポストタクシー (株) (1 人) / 八戸縄文 保存協会 (1 人)	11/13 是川遺跡クリーンデー (20 人) 企画展ギャラリートーク (2 人) 令和 3 年度 八戸市遺跡調査報告会 (64 人) 見学: 八戸縄文保存協会 (13 人) / クラブツーリズム関西 (21 人) / 弘 南バス (株) (7 人) / 個人 (1 人)
10/24	見学: 弘南バス (株) (6 人) / クラブツーリズム (株) (18 人) 取材: ラジオ大阪 (大阪放送 (株)) (3 人)	取材: デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社 (2 人) / 読売新聞社 (1 人)
10/26	見学: 八戸縄文保存協会 (1 人) 取材: デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社 (1 人)	11/14 見学: 是川縄文ボランティア (1 人) / 弘南バス (株) (16 人) / 八戸縄 文保存協会 (1 人) / (株) 阪急交通社 (32 人) / 八戸縄文保存協 会 (1 人) / クラブツーリズム (株) (1 人) 下見: ミューズ保育園 (2 人)
10/27	見学: 弘南バス (株) (15 人) / (株) ユーラシア旅行社 (20 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) / 福島大学考古学研究室 (10 人)	11/15 滑石の勾玉作り体験: 八戸市立是川小学校 2 学年 (41 人) 見学・滑石の勾玉作り体験: 八戸市立柏崎小学校 6 学年 (72 人) 見学: 個人 (6 人)
10/28	見学・火起こし体験: 田子町立清水頭小学校 5・6 学年 (14 人) 見学: 八戸市桔梗野小学校 5 学年 (12 人) 下見: (株) ジェイアール東日本企画 (3 人) 取材: 平野智子 (2 人) / 八戸学院大学 (15 人)	11/17 見学: 東北町立東北小学校 6 学年 (40 人) / 弘南バス (株) (15 人) / 地域活動支援センターふれあい (11 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) / クラブツーリズム (株) (20 人) 取材: 岩手県北自動車 (株) (8 人) / デーリー東北新聞社 (1 人) / 青森 県庁観光企画課 (5 人) / (株) テクノス (1 人)
10/29	見学: 青森市立野内小学校 6 学年 (15 人) / 個人 (2 人) / クラブツ ーリズム (株) (20 人) / クラブツーリズム (株) (20 人) / 八戸縄 文保存協会 (1 人)	11/18 滑石の勾玉作り体験: 八戸市立是川小学校 3 学年 (20 人) 見学: 個人 (5 人)
10/30	これかわ考古学クラブ (12 人) 企画展ギャラリートーク (5 人) 見学: 弘南バス (株) (21 人) 下見: 岩手県北自動車 (株) 南部支社 (3 人) 取材: 東奥日報社 (1 人)	11/19 見学: 多賀台双葉サロン (22 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) 取材: 岩手県北自動車 (株) 南部支社 (4 人)
10/31	見学: 青森 MICHINOKU 通訳ガイドの会 (8 人) / 弘南バス (株) (12 人)	11/20 トチの実で縄文クッキング (8 人) 企画展ギャラリートーク (9 人) 見学: 弘南バス (株) (13 人) / フラワー観光 (株) (18 人) / 個人 (4 人)
11/1	視察: 八戸市議会事務局 (18 人)	取材: (有) サウンドクリエイイト (1 人) / 東奥日報社 (2 人)
11/3	学芸員と遺跡ツアー (26 人) 見学: 弘南バス (株) (12 人) / ジバング大人の休日倶楽部 (22 人) /	11/21 見学: 弘南バス (株) (10 人) / 根城ボランティアガイド (6 人) / 八戸 縄文保存協会 (2 人) / みちのけトラベル (10 人)

月/日	事項	
	取材：青森県東京事務所 (4人)	取材：(株) 青森テレビ (7人)
11/23	見学：クラブツーリズム (株) (19人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / 弘南バス (株) (5人) / 個人 (2人) / 八戸縄文保存協会 (1人)	12/22 見学：八戸縄文保存協会 (1人)
11/25	見学：ミュージズ保育園 (40人) / 八戸市旭ヶ丘小学校 6 学年 (20人) / 見学：縄文是川ボランティア (1人) / 八戸縄文保存協会 (1人) / 西海観光 (株) (20人)	取材：(株) 青森テレビ (6人) 12/23 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 視察：新郷村議会 (5人)
11/26	視察：(一社) 東北観光推進機構 (4人) 見学：新郷村農業者年金協会 (10人) / 五所川原市立南小学校 6 学年 (47人) / 個人 (1人) 取材：(株) テクノス (2人)	12/25 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 1/5 見学：(株) 阪急交通社 (23人) 1/6 取材：NHK エデュケーショナル (8人)
11/27	企画展ギャラリートーク (20人) 見学：クラブツーリズム (株) (17人) / 個人 (2人) / (株) はちのへ 東奥朝日ソリューション (10人) / (公財) 兵庫丹波の森協会 (4人) / 縄文是川ボランティア (1人) 取材：デーリー東北新聞社 (1人)	1/7 見学：八戸縄文保存協会 (4人) 1/8 縄文土器の拓本作り教室 (13人) 1/12 見学：NPO 法人まちもびデザイン (1人) / 弘南観光開発 (株) (8人) 1/14 取材：東北観光推進機構 (4人)
11/28	第 6 回は川縄文の里 俳句大会表彰式 (18人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 取材：東奥日報社 (1人) / デーリー東北新聞社 (1人)	1/15 考古学講座⑤ (45人) 見学：八戸縄文保存協会 (1人)
11/30	見学：個人 (1人)	1/18 見学：三八五流通 (株) (4人) 取材：JR 北海道車内誌 (2人) / (株) JTB パブリッシング (3人)
12/2	見学・滑石の勾玉作り体験：階上町立赤保内小学校 6 学年 (29人) 見学：写真館グランフォート (1人) / 青森県立むつ養護学校高等部 3 学年 (26人) 視察：三陸ジオパーク推進協議会 (3人)	1/19 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 取材：(株) 電通東日本 (7人)
12/3	見学・滑石の勾玉作り体験：八戸市立江陽小学校 6 学年 (39人) 見学：学校法人千葉学園 千葉幼稚園 (52人) / 就業生活支援センター カシオペア (9人) / 小牧野遺跡保護センター (1人) / 弘前大学 日本考古学研究室 (10人) / モズ (5人) / 青森県立八戸第二養護学校中学部 3 学年 (37人)	1/20 取材：東海テレビ放送 (株) (3人) 1/21 見学：クラブツーリズム (株) (9人) / 八戸縄文保存協会 (1人) 下見：(株) HIS (2人)
12/4	これかかわ考古学クラブ④ (18人) 見学：個人 (2人) / 個人 (2人) / 個人 (3人) / フラワー観光 (株) 弘前支店 (6人)	1/22 後期サポートスタッフ研修会① (26人) 見学：じょもろう会 (33人) / 八戸縄文保存協会 (2人)
12/6	取材：(株) ジェイアール東日本企画 (9人)	1/23 見学：八戸縄文保存協会 (1人) / 弘南観光開発 (株) (8人) 1/29 後期サポートスタッフ研修会② (22人)
12/7	見学：桐栄会 (18人) 取材：国際文化学園 (5人)	2/5 後期サポートスタッフ研修会③ (20人) 2/19 後期サポートスタッフ研修会④ (20人) 2/26 後期サポートスタッフ研修会⑤ (25人)
12/8	見学：JA ゆうき青森 (89人) / 弘前市立桔梗野小学校 6 学年 (55人)	3/8 令和 3 年度 第 1 回は川縄文館 運営協議会 (8人) 取材：東奥日報社 (1人)
12/9	見学・滑石の勾玉作り体験：八戸市立吹上小学校 6 学年 (97人) 見学：おいらせ町商工会女性部 (15人) 視察：大間町教育委員会 (8人)	3/9 見学：八戸縄文保存協会 (1人) 3/11 見学：個人 (5人)
12/10	令和 3 年度冬季企画展ボランティア向け内覧会 (17人) 見学：個人 (7人)	3/13 取材：あおもりもーとツーリズム (2人) 視察：東奥日報社 (2人)
12/11	開館 10 周年記念特別展考古学講座 (52人) 八戸ブックセンター ワークショップ (19人) 取材：NHK 八戸支局 (1人) / デーリー東北新聞社 (1人) 見学：個人 (12人) / 八戸縄文保存協会 (1人)	3/15 見学：(株) JTB (8人) 取材：青森県観光
12/12	取材：(株) エイチアイエス (2人) 見学：つがる市商工会 (13人)	
12/14	取材：岩手県北自動車 (株) 南部支社 (3人) / (株) 八戸テレビ放送 (2人)	
12/15	見学・滑石の勾玉作り体験：青森県老人クラブ連合会 (17人)	
12/16	見学：個人 (3人)	
12/17	見学・滑石の勾玉作り体験：青森県立八戸聾学校 (4人) / 八戸市立多賀台小学校 6 学年 (27人) 見学：(株) 阪急交通社 (34人)	
12/18	後期考古学講座① (36人) 取材：東奥日報社八戸支社 (1人)	
12/19	見学：クラブツーリズム (株) (27人)	
12/21	見学：番屋友の会 (4人) / 八戸縄文保存協会 (1人)	

3. 来館者利用状況

月	個人				団体				減免入館者					有料観覧者	全額免除観覧者	講座等入館者	本館総入館者	開館日数	平均入館者
	一般	大・高	小・中	計	一般	大・高	小・中	計	障がい	介護	高齢	優待	計						
4月	481	15	13	509	41	0	0	41	22	8	38	27	95	645	193	248	1,086	27	40
5月	712	30	42	784	0	94	70	164	10	9	59	3	81	1,029	170	407	1,606	18	89
6月	822	11	76	909	20	27	0	47	14	8	48	18	88	1,044	251	418	1,713	22	78
7月	1,418	28	145	1,591	57	0	169	226	21	16	75	31	143	1,960	1,126	655	3,741	20	187
8月	1,807	98	274	2,179	32	0	0	32	38	29	149	21	237	2,448	851	357	3,656	21	174
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	117	0	0
10月	1,413	18	63	1,494	203	75	108	386	28	23	67	13	131	2,011	699	344	3,054	28	109
11月	1,593	29	54	1,676	175	0	75	250	25	18	180	50	273	2,199	2,203	506	4,908	24	205
12月	694	17	20	731	147	0	74	221	27	10	56	50	143	1,095	403	322	1,820	24	76
1月	413	12	13	438	56	0	0	56	7	8	15	17	47	541	118	291	950	17	56
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	164	0	-
3月	290	31	24	345	21	0	0	21	25	9	18	4	56	422	89	188	699	21	33
計	9,643	289	724	10,656	752	196	496	1,444	217	138	705	234	1,294	13,394	6,103	4,017	23,514	222	106



本館における過去 11 年間の来館者数の推移

※ H23 の数値はボランティアを含まない。

※新型コロナウイルス感染症対策のため令和 3 年 9 月 1 日～ 30 日及び令和 4 年 1 月 24 日～ 3 月 7 日は休館とした。

4. 小中学校利用状況

学校利用	1,699 人	市内	1,197 人 (小学校 17 校 874 人 中学校 6 校 323 人)	※詳細は下部表を参照
		市外	502 人	
個人利用	1,376 人	市内	711 人 (小学校 628 人 中学校 83 人)	
		市外	665 人	
総計			3,075 人	

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
4/30	豊崎小学校 1～6 学年	見学	54	11/5	豊崎中学校 1 学年	見学	3
6/2	島守小学校 6 学年	見学・体験	8	11/9	是川中学校 1～3 学年	出前講座	99
7/15	城北小学校 6 学年	見学・体験	67	11/11	是川小学校 1 学年	見学・体験	21
7/16	中居林小学校 6 学年	見学・体験	50	11/11	第三中学校 2 学年	見学	5
7/16	城下小学校 6 学年	見学	49	11/12	三条小学校 6 学年	見学・体験	60
7/20	第二中学校 1 学年	見学・体験	88	11/12	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	37
7/20	八戸盲聾学校	出前体験	8	11/16	柏崎小学校 6 学年	見学・体験	68
8/25	是川小学校 4 学年	体験	29	11/16	是川小学校 2 学年	体験	35
8/27	是川小学校 5 学年	体験	23	11/18	是川小学校 3 学年	体験	18
9/14	是川小学校 6 学年 (インターネット中継)	体験	20	11/25	旭ヶ丘小学校 6 学年	見学	18
10/4	高館小学校 5・6 学年	見学・体験	54	12/3	江陽小学校 6 学年	見学・体験	36
10/8	南郷小学校 5・6 学年	見学	32	12/3	八戸第二養護学校中等部 3 学年	見学	23
10/15	是川中学校 1～3 学年	出前体験	99	12/9	吹上小学校 6 学年	見学・体験	92
10/21	根城小学校 6 学年	見学・体験	59	12/17	八戸聾学校	見学・体験	2
10/22	江陽中学校 1 学年	見学	6	12/17	多賀台小学校 6 学年	見学・体験	25
10/28	桔梗野小学校 5 学年	見学	9				

○修学旅行利用状況

令和 3 年度は、以下の表のとおり修学旅行先として 10 校 264 人の利用があった。

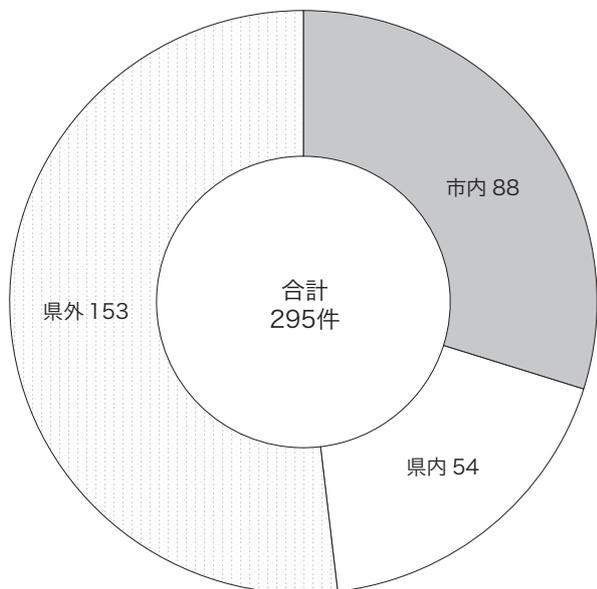
入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
4/23	青森県立森田養護学校高等部 3 学年	見学	13	11/17	東北町立東北小学校 6 学年	見学	35
5/14	青森市立北中学校 3 学年	見学	37	11/26	五所川原市立南小学校 6 学年	見学	40
10/20	つがる市立瑞穂小学校 6 学年	見学	33	12/2	青森県立むつ養護学校高等部 3 学年	見学	14
10/29	青森市立野内小学校 6 学年	見学	11	12/3	青森県立八戸第二養護学校中学部 3 学年	見学	23
11/5	深浦町立修道小学校 6 学年	見学	11	12/8	弘前市立桔梗野小学校 6 学年	見学	47

5. 資料利用状況

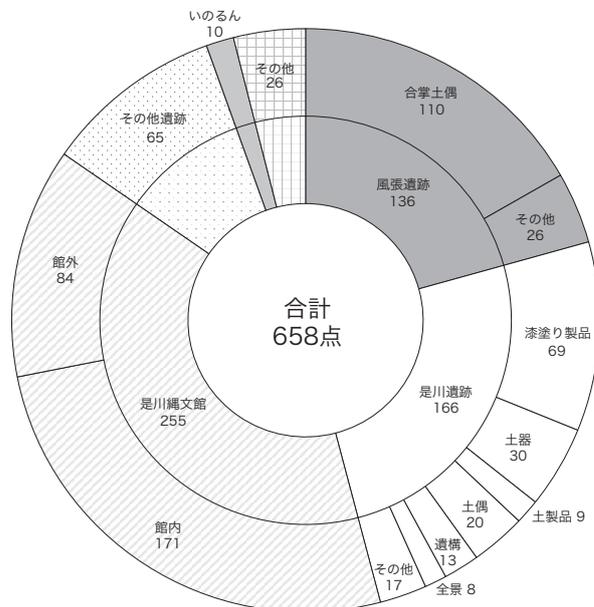
(1) 画像資料

令和3年度は、申請数 295 件、合計 658 点の利用申請があった。前年と比べ件数、点数ともに増加した。今年度の申請者も昨年度に引き続き県外が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ利用や個人の SNS への掲載等がある。

また、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の関係自治体で共同運営する公式ホームページ内に設けられた、JOMON ARCHIVES からの画像利用は 94 件に上った。



利用依頼先内訳



利用種別内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
1	是川小学校	いのるん	1	写真貸与	4月8日	運動会職員用Tシャツ
2	NHK 青森放送局	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	4月3日	縄文関連の番組、広報
3	ザーリパティ編集部	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	4月9日	取材
4	(株) Z会	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	写真貸与	4月15日	教材
5	遠野市博物館	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	4月13日	特別展「遠野物語と遠野の縄文文化」
6	養護老人ホーム長生園	風張1遺跡 合掌土偶出土状況	1	写真貸与	4月15日	名刺
7	東奥日報社 八戸支社	常設展及び展示品	1	写真撮影	4月10日	日刊紙 東奥日報掲載
8	VISIT はちのへ	常設展及び展示品	1	映像撮影	4月20日	八戸圏域観光・物産PR 動画撮影
9	(株) 交通新聞社	風張1遺跡 類杖土偶ほか	3	写真貸与	4月27日	旅行誌「ジバング倶楽部」6月号「謎解きふしぎ探訪」表紙
10	青森県統計協会	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況	1	写真貸与	4月30日	2022年度版青森県民手帳
11	(株) 西遊旅行	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	4月30日	HP ツアー紹介
12	今野印刷 (株)	展示室内ほか	2	写真貸与	5月11日	るぶFREE 東北秋夏号第1特集「大人も！子ども！自由研究」
13	光村推古書院 (株)	新井田古館遺跡 入れ子式土器	1	写真貸与	5月8日	菅田亜紀子著『かわいい古代』挿図
14	読売新聞社東京本社文化部	是川中居遺跡 木胎漆器	1	写真貸与	5月9日	世界遺産関連特集記事
15	(株) トド・プレス	展示室及び展示品	1	写真撮影	5月13日	ダイナスクラブ会員誌
16	八戸市広報統計課	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	5月14日	広報紙表紙撮影
17	読売新聞 八戸支局	常設展及び展示品	1	写真撮影	5月18日	読売新聞掲載
18	個人	是川中居遺跡 編布	1	写真貸与	5月20日	雑誌『季刊民族学』178号
19	スタジオ大島	常設展及び展示品	1	写真撮影	5月21日	千葉学園高校卒業アルバム
20	個人	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5月25日	書籍に掲載するため
21	有限会社うゑいくあつぷらんど	風張1遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	5月26日	NHK テレビ番組内
22	(株) 青森テレビ	是川遺跡整備イメージ	1	写真貸与	5月27日	報道番組
23	(株) アフロ	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5月28日	小学5年生対象の塾用教材
24	(株) グレイル	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5月28日	『国宝の地図帳/ハンディ版』掲載
25	有限会社らいず	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5月28日	青森銀行株主優待カタログ

令和3年度画像資料等利用依頼一覧(1)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
26	新郷村立新郷小学校	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	6月1日	学校記録写真撮影
27	合同会社 ミミック	是川縄文館外観	1	写真撮影	6月1日	青森県観光 Web サイト「アプティネット」
28	八戸市立烏守小学校	常設展及び展示品	1	写真撮影	6月2日	卒業アルバム
29	編集工房ピータス(株)	是川中居遺跡 木胎漆器ほか	39	写真貸与	6月8日	『北海道・北東北の縄文遺跡群を旅するガイド』
30	(株) ビーエフエム	是川縄文館外観	1	写真撮影	6月8日	タイムテーブル用取材
31	スタジオ大島	体験交流室	1	写真撮影	6月8日	卒業アルバム
32	朝日新聞出版	是川中居遺跡 壺形土器	1	写真貸与	6月10日	書籍『列島四千年のディープヒストリー』(仮題)
33	(一財)VISIT はちのへ	これカフェ	1	写真撮影	6月11日	商品の参考にするため
34	八戸工業高等専門学校	風張1遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	6月11日	『考古学ジャーナル』2021年7月号
35	(株) 山川出版社	是川中居遺跡 土偶	1	写真貸与	6月11日	書籍『大学入学共通テストへの道』
36	ホテルテトラ	縄文の美展示室ほか	4	写真貸与	6月11日	WEB 上での周辺観光施設 PR、宿泊プランの作成
37	東奥日報社	体験交流室	1	写真撮影	6月12日	『東奥日報』朝刊地方面掲載
38	(株) ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6月12日	東北 DC 青森県・道南 in 仙台駅 大型フラッグ
39	フォトリエ Art Bridge	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	6月13日	イベント(フェス)
40	(株) JTB 国内仕入商品事業部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6月15日	赤カATALOG「東北」旅の過ごし方ページ
41	IBC 岩手放送	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	6月15日	じゃじゃじゃ TV 制作
42	(株) ジェイアール東日本盛岡支店青森営業所	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6月19日	青森県 PR スライド
43	クラブツーリズム(株) 関西テーマ旅行センター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6月20日	媒体・ホームページ記載
44	クラブツーリズム(株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	6月20日	『国内ひとり旅』パンフレット
45	(株) えんれいしゃ	常設展及び展示品	1	写真撮影	6月22日	取材
46	(株) ディスカバリー・ジャパン	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	6月22日	雑誌『discover Japan』117号
47	八戸市まちづくり文化スポーツ部	是川縄文館外観	1	写真貸与	6月25日	パラリンピック聖火フェスティバル紹介パンフレット
48	クラブツーリズム(株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	6月25日	HP 掲載
49	東奥日報社	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	6月26日	日刊紙「東奥日報」掲載
50	八戸市議会事務局	是川縄文館外観	1	写真貸与	6月28日	広報紙「はちのへ市議会だより」表紙
51	びけプロダクション(株)	風張1遺跡 第15号住居ほか	3	写真貸与	6月28日	ドキュメント映画「掘る女」
52	早稲田システム開発(株)	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	6月29日	冊子および web サイト掲載
53	五戸町立五戸小学校6学年	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	7月1日	学年だより
54	青森朝日放送(株)	常設展及び展示品	1	映像撮影	7月2日	「スーパーチャンネル ABA」
55	(株) 世界文化社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月6日	書籍『新版・土偶手帳』
56	東奥日報社 八戸支社	常設展及び展示品	1	写真撮影	7月6日	日刊紙「東奥日報」別刷り特集掲載
57	NHK 札幌放送局	是川中居遺跡 土偶	1	映像使用	7月6日	NHK 北海道・北東北制作番組
58	(株) JTB パブリッシングメディア戦略部地域情報統括室	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月7日	るぶ& more
59	クラブツーリズム(株) カルチャー旅行センター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月8日	ツアー募集パンフレット
60	デーリー東北新聞社	是川縄文館外観	1	写真撮影	7月9日	デーリー東北
61	個人	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影・映像撮影	7月10日	SNS 投稿 インターネット公開
62	ガールスカウト青森県4団	体験交流室ほか	2	写真撮影	7月11日	フェイスブック投稿
63	(株) クリエイトヴスタッフ	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	7月13日	番組「君に見せたい縄文がある」
64	青森放送(株)	是川中居遺跡 水場遺構ほか	4	写真貸与	7月13日	RAB ニュースリーダー
65	(一財) VISIT はちのへ	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月13日	ユートリーおみやげショップ内 POP
66	八戸市広報統計課	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	7月14日	全国メディア向けプレスリリース
67	青森県企画制作部交通制作課	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月14日	世界遺産登録記念パネル
68	(株) 世界文化社	風張1遺跡 類杖土偶	1	写真貸与	7月15日	書籍『新版・土偶手帳』
69	カメラのコーエン	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	7月15日	卒業アルバム、卒業 DVD
70	函館新聞社	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影	7月15日	函館新聞記事
71	毎日小学生新聞	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月16日	毎日小学生新聞記事
72	(株) ビーエフエム	特別展及び展示品	1	写真撮影	7月16日	ニュースサイト八戸経済新聞取材
73	(株) 秋耕社	新井田古館遺跡 曲輪の構え	1	写真使用	7月17日	『続東北の名城を歩く北東北編』
74	東奥日報社	是川中居遺跡 木胎漆器出土状況	1	写真貸与	7月17日	東奥日報紙上
75	八戸市広報統計課	是川中居遺跡 全景	1	写真貸与	7月18日	全国メディア向けプレスリリース
76	(株) PHP 研究所	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月18日	書籍『「縄文」の新常識を知れば日本の謎が解ける』
77	青森県赤十字血液センター	常設展及び展示品	1	写真撮影	7月19日	赤十字シンポジウムポスター
78	陸奥新報社	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	7月20日	新聞「陸奥新報」掲載記事

令和 3 年度画像資料等利用依頼一覧(2)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
79	八戸市立第二中学校	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	7月20日	学年通信・学級通信
80	青森放送(株)	遺跡全景	1	映像撮影	7月20日	ニュース番組映像
81	川口印刷	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	7月21日	北東北エリアマガジン rakra 青森県庁出稿記事
82	(株)三越伊勢丹ニッコートラベル	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	7月24日	募集企画旅行の販売促進用パンフレット・ホームページ ツアー案内欄
83	青森県立八戸商業高校	いのるん	1	写真貸与	7月27日	イベント広告等に使用
84	クラブツーリズム関西国内旅行センター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月27日	旅行パンフレット印刷物・インターネット商品ページ
85	青森県赤十字血液センター八戸出張所	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7月27日	赤十字シンポジウム案内ポスター・チラシ
86	(一財)VISIT はちのへ	常設展示室ほか	9	写真貸与	7月27日	VISIT はちのへ観光物産サイト WEB ページ
87	国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	7月27日	公開講座のインターネット上での無料配信
88	個人	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	12	写真使用	7月29日	書籍
89	東奥日報社 八戸支社	展示室および展示品	1	写真撮影	7月31日	取材
90	有限会社マルユ佐藤設備工業	是川遺跡全景	1	写真貸与	8月1日	社内掲示
91	川口印刷工業(株)	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8月1日	スタンプラリー台紙
92	次元 foto	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	8月3日	TOP 縄文撮影
93	(株)ワン・パブリッシングムー編集部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真使用	8月4日	月刊ムー10月号記事「縄文土偶は植物の精霊だった!!」
94	青森県企画政策部交通政策課航空グループ	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8月5日	取材
95	(株)阪急交通社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	8月7日	ホームページ内ツアー募集ページ
96	毎日新聞社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8月7日	週刊誌「サンデー毎日」
97	(株)東日本旅客鉄道八戸駅	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	8月7日	ポスター作成
98	(株)同成社	風張1遺跡 土坑墓検出状況	2	写真貸与	8月7日	書籍『世界遺産になった!縄文遺跡』
99	(株)ATV ビジョン	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	8月9日	縄文特番番組撮影
100	(株)オダブリント	いのるん	1	写真貸与	8月10日	八戸市立是川小学校設置世界遺産登録記念横断幕
101	(株)RAB 企画	展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	8月11日	RAB 縄文特番「青森から世界へ」
102	(株)トライエックス	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8月12日	販売用カレンダー
103	(株)LAUNCH	是川石器時代遺跡 遠景ほか	2	写真貸与	8月12日	津軽海峡フェリー(株)発行媒体
104	八戸市議会事務局	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8月18日	機関紙「全国市議会旬報」
105	(株)ロム・インターナショナル	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8月18日	書籍『地図でスッと頭に入る縄文時代』
106	(一財)VISIT はちのへ	常設展示室ほか	9	写真貸与	8月18日	インバウンド現地メディア向け情報発信用ニュースレター
107	(株)新泉社	是川中居遺跡 藍胎漆器ほか	2	写真貸与	8月18日	『縄文時代を知るための110問』(勅使河原彰著)口絵
108	(株)グレイル	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8月19日	宝島社ムック「古代史の舞台を歩く(仮称)」
109	PMA トライアングル	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	8月19日	Honda じゃらん東北
110	個人	復元住居	1	写真貸与	8月20日	図書館を使った調べる学習コンクール
111	川口印刷工業(株)	常設展示室 漆の美	1	写真貸与	8月21日	エリアマガジン特集ページ紹介ページ
112	青森県企画政策部	是川中居遺跡 土器ほか	2	写真貸与	8月24日	県広報紙「県民だより10月号」
113	(株)青森テレビ 八戸支社	特別展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	8月25日	「わっち」又は「ATV ニュース」撮影(取材)
114	ヒーローベースプロジェクト in 陸奥	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	5	写真貸与	8月26日	動画企画
115	もののみや	泉山兄弟胸像ほか	5	写真貸与	8月26日	季刊あもりのき第4号記事
116	(株)新泉社	是川中居遺跡 壺形土器	1	写真貸与	8月26日	『縄文時代を知るための110問』(勅使河原彰著)口絵
117	岩手県立博物館	盲塚沢(3)遺跡 土器ほか	41	写真貸与	8月26日	展覧会「教科書と違う岩手の歴史-岩手の弥生~古墳時代-」
118	(株)ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	8月30日	あもり紀行2022年冬春版パンフレット
119	ジャパン・トラベル	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	8月31日	県多言語公式サイト
120	八戸市立是川小学校	いのるん	1	写真貸与	9月3日	世界遺産登録記念横断幕
121	東奥日報社	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影	9月7日	新聞記事取材
122	読売新聞東京本社社会部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月14日	読売中高生新聞
123	八戸市商工会議所	是川中居遺跡 漆塗り土器ほか	2	写真貸与	9月15日	機関紙「八戸商工ニュース」
124	青森県名古屋情報センター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月17日	中日新聞紙面及びサイト
125	(株)ジェイアール東日本企画	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月19日	世界遺産PRイベント用テーブルクロス、パネル
126	(株)千代田ラフト	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月19日	NHK ニュース
127	(一財)小原流	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月22日	『小原流挿花11月号』電子版特集記事内「土偶の魅力と不思議」
128	(株)ドキュメンタリージャパン	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9月22日	NHKBS プレミアム「コズミックフロント」
129	第一法規(株)	長七谷地貝塚空撮ほか	2	写真貸与	9月22日	『月刊文化財』
130	個人	是川中居遺跡 注口土器	14	写真貸与	9月30日	書籍『遺跡に学ぶ縄文クッキング』(仮題)
131	グランドサンピア八戸	いのるん	1	写真貸与	9月30日	ホテル客室配置メモ帳
132	(株)企作土舎	展示室及び展示品	1	映像撮影	10月2日	青森朝日放送 縄文探訪番組撮影
133	個人	展示室及び展示品	1	写真撮影	10月2日	発表資料

令和3年度画像資料等利用依頼一覧(3)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
134	(有) スタジオ大島	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10月4日	小学校卒業アルバム
135	(株) 産業経済新聞社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月5日	サンケイスポーツ「大人くらぶ」
136	八戸市立南郷小学校	常設展及び展示品	1	写真撮影	10月6日	クイズ作成
137	テクテク編集部	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影	10月7日	「るるぶ青森」掲載
138	ジョモろう会事務局	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真撮影	10月8日	「写真家 野村哲也講演会」チラシ
139	岩手県北自動車(株) 南部支社	いのるんほか	4	写真貸与	10月9日	是川縄文館バス案内
140	個人	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	10月12日	HP掲載
141	TBS テレビ	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月12日	TBS テレビ「A-Studio+」
142	個人	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	10月13日	「旅色」コンテンツ「みんなの旅プラン」
143	個人	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月13日	講義パワーポイントデータ
144	夏坂写真館	常設展及び展示品	1	写真撮影	10月14日	卒業アルバム作成
145	ジョモろう会	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月19日	写真家 野村哲也氏講演会 チラシ ポスター
146	(株) グレイル	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月19日	TJMOOK『古代史の「舞台」を歩く』(仮称)
147	(株) 八戸テレビ放送	企画展及び展示品	1	映像撮影	10月19日	「HTV 週間トピックス」番組取材
148	八戸郵便局	いのるん	1	写真貸与	10月20日	郵便ポストラッピング
149	イワダテフォトスタジオ	是川縄文館常設展及び展示品	1	写真撮影	11月17日	卒業アルバム
150	大間町立大間小学校	是川縄文館常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11月19日	卒業アルバム
151	笹森写真館	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10月20日	卒業アルバム
152	国際芸術センター青森	中居遺跡 箆形木製品ほか	6	写真貸与	10月20日	活動報告(SNS)および記録集
153	天理教道友社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月20日	『すきっと Vol.37』「オトナの放課後」
154	(株) 阪急交通社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	10月20日	ツアー募集原稿
155	(株) PHP 研究所	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月20日	『「縄文」の新常識を知られば日本の謎が解ける』電子化
156	(有) スタジオ大島	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10月21日	卒業アルバム
157	八戸市商工労働観光部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10月22日	『GLOVAL PORT HACHINOHE』第6版
158	(株) 目の眼	縄文人の指紋	1	写真貸与	10月22日	書籍「金糞と漆」
159	東北電気保安協会八戸事業所	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	10月28日	広報誌「電気と保安」
160	個人	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	10月28日	「旅の手帖」取材
161	八戸学院大学	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	10月28日	大学HPへの掲載
162	東奥日報社	常設展及び展示品	1	写真撮影	10月30日	東奥日報連載「JOMON」
163	創創舎	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月5日	青森県総合社会教育センター動画撮影
164	個人	風張1遺跡 合掌土偶	1	写真貸与	11月5日	写真展「泉山元・堀井裕子二人展」広告ハガキ
165	(株) サイクロイド	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	11月6日	青森県港湾空港課 クルーズ船誘致PR映像
166	青森県観光国際戦略局誘客交流課	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月7日	旅行エージェンツの造成担当者向けセールス資料
167	八戸市市民連携推進課	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月9日	女性チャレンジ講座
168	(株) ジェイアール東日本企画盛岡支店	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月9日	あおりり紀行 ウェブ広告 ランディングページ
169	(株) えんれいしゃ	是川縄文館外観	2	写真貸与	11月9日	北海道生活 12-1月号
170	青森朝日放送(株)	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	11月9日	取材
171	テレビ岩手	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	11月9日	「5きげんテレビ」番組撮影
172	有限会社発	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月10日	Precious1月号(12月7日発売)「縄文の魅力を語ろう！」
173	東奥日報社 生活文化部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月10日	新聞「東奥日報」掲載
174	(株) アルタイル	「縄文鍋」体験の様子	1	写真貸与	11月11日	お茶メーカー「ルビシア」冊子
175	(株) NHK エンタープライズ東北支社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	映像使用	11月11日	NHK「あさいち」
176	イワダテフォトスタジオ	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月12日	写真撮影
177	(株) テレビマンユニオン	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月13日	TBS テレビ「世界ふしぎ発見！」
178	イワダテフォトスタジオ	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月16日	卒業アルバム
179	デーリー東北	館内	1	写真撮影	11月17日	南部バス取材
180	岩手県北自動車	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	11月17日	HP動画撮影
181	青森県庁観光企画課	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11月17日	インターネットでの情報発信
182	(株) アドプリンター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11月17日	年賀はがき
183	(株) アム・プロモーション	中居遺跡 中高石皿	1	写真貸与	11月19日	縄文カレンダー 2022
184	岩手県北自動車(株) 南部支社	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	11月19日	「バスロケーションシステム」PR動画
185	東奥日報社	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	11月20日	東奥日報紙取材
186	(有) サウンドクリエイト	トチの実で縄文クッキング	1	映像撮影	11月20日	八戸広報番組撮影
187	青森県東京事務所	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	11月21日	「サンデー毎日」取材
188	スタジオやまみち	常設展及び展示品ほか	3	写真撮影	11月25日	旭ヶ丘小学校6年生卒業アルバム撮影

令和3年度画像資料等利用依頼一覧(4)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
189	(株) テクノス	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月26日	法人会広報紙掲載
190	五所川原市立南小学校6学年	常設展及び展示品	1	写真撮影	11月26日	卒業アルバム撮影
191	写真館グランフォート	常設展及び展示品	1	写真撮影	12月2日	卒業アルバム撮影
192	(株) NHK エデュケーションナル	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	映像使用	12月3日	NHK番組内
193	八戸市鶴盟大学	八戸市縄文学習館 竪穴式住居ほか	3	写真使用	12月3日	八戸市鶴盟大学44期卒業文集
194	(有) さわきフォトサービス	是川縄文館外観	1	写真撮影	12月3日	八戸第二養護学校修学旅行
195	八戸カメラ	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12月3日	卒業アルバム製作
196	(株) 平凡社	是川中居遺跡 赤色漆塗り注口土器	1	写真貸与	12月3日	書籍『日本を旅する大旅行地図帳 歴史編』(仮題)
197	(公財) 鹿嶋市文化スポーツ振興事業団	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月3日	鹿嶋市どきどきセンター企画展示パネル
198	(株) ジェイアール東日本企画	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	12月6日	東北歴史文化講座オンラインツアー収録
199	JTB パブリッシング	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月7日	講演会「そろそろ行きたい旅」
200	(株) 日経映像	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月7日	テレビ東京「新美の巨人」
201	ミカミスタジオ	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12月8日	卒業アルバム作成のため
202	(有) スタジオ大島	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12月9日	卒業アルバム資料
203	青森朝日放送(株)	是川中居遺跡 樹皮製容器	2	写真貸与	12月10日	テレビ番組「ラッキー」
204	阪急交通社高松支店	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12月10日	ツアーの募集原稿
205	東奥日報社	是川中居遺跡 水場遺構	1	写真貸与	12月10日	東奥日報本紙掲載のため
206	NHK 八戸支局	展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	12月11日	鉢形土器展 取材撮影(NHKニュース又はあつふるワイド内で放送予定)
207	デーリー東北新聞社	企画展及び展示品	1	写真撮影	12月11日	冬季企画展「是川遺跡の鉢形土器」取材
208	(株) HIS	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12月12日	オンラインツアーの事前収録
209	一般財団法人八戸建設協会	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12月13日	年賀状
210	川口印刷工業(株)	藍胎漆器展示状況	1	写真貸与	12月14日	御所野縄文博物館 館内リーフレット
211	(株) 敬文舎	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月14日	鶴岡幸雄著 ヒスカルセクション考古7「ハケ岳山麓の縄文文化」
212	生活支援センターカシオペア	是川縄文館外観ほか	2	写真使用	12月14日	機関誌・法人ホームページへの記事掲載
213	東奥日報社	是川一王寺遺跡 土面	1	写真貸与	12月14日	東奥日報本紙掲載のため
214	(株) 八戸テレビ放送	企画展及び展示品	1	映像撮影	12月14日	「HTV 週間トピックス」番組取材
215	岩手県北自動車(株) 南部支社	企画展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	12月14日	縄文Web バスツアー撮影
216	(株) ジェイアール東日本企画	是川一王寺遺跡 土面ほか	13	写真貸与	12月15日	JR 東日本オンライン講座配信及びアーカイブ
217	青森県埋蔵文化財調査センター	田向冷水遺跡 竪穴建物跡	1	写真貸与	12月16日	令和3年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告
218	青森県観光国際戦略局誘客交流課	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	3	写真貸与	12月17日	東京駅構内プロモーション
219	(株) 中長印刷	これカフェ	1	写真撮影	12月18日	白山台社会福祉協議会会報「ほほえみ」
220	東奥日報社八戸支社	企画展及び展示品	1	写真撮影	12月18日	日刊紙「東奥日報」掲載
221	町田市教育委員会	是川中居遺跡 鉢形土器	3	写真貸与	12月18日	展示パネルに使用
222	(株) 青森テレビ	常設展及び展示品ほか	2	映像撮影	12月21日	八戸市広報特別番組
223	有限会社青青編集	是川中居遺跡 漆塗り樹皮製容器	1	写真貸与	12月21日	好川産業(株) 記念誌『好川産業100年史』
224	個人	常設展示室	5	写真使用	12月21日	Instagram投稿
225	(株) 青森テレビ	展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	12月22日	八戸市広報特別番組
226	(株) リクルートじゃらん編集部	風張1遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12月22日	雑誌『じゃらん東北2022-2023』
227	日本航空(株) 青森支店	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月24日	オンライントリップ告知WEBページ
228	東北大学大学院文学研究科 館内魁生氏	八幡遺跡 出土資料ほか	6	写真貸与	12月24日	博士論文
229	個人	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影	12月25日	大学50周年記念プロジェクト動画作成
230	八戸市美術館	常設展及び展示品ほか	2	写真撮影・映像撮影	12月25日	R3年度コレクション展(美術館主催) インタビュー・資料撮影
231	東奥日報社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月27日	東奥日報紙上
232	東奥日報社	是川一王寺遺跡 土面	1	写真貸与	12月28日	ウェブ東奥
233	(株) JTB	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月28日	募集パンフレット掲載
234	(株) 電通東日本青森営業所	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月28日	フジテレビ「めざまし8」
235	クラブツーリズム(株) 関西国内旅行センター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12月28日	媒体・ホームページ記載のため
236	青森県立東高校	是川縄文館外観	1	写真貸与	1月4日	創立120周年展示
237	八戸市三条中学校	いのるん	1	写真貸与	1月5日	青森県中学校選抜美術展会場表示
238	NHK エデュケーションナル	展示室及び展示品ほか	3	写真撮影・映像撮影	1月6日	NHKワールド番組
239	日本航空(株) 青森支店	縄文鍋ふるまい	1	写真貸与	1月12日	オンライン青森冬景色
240	(株) 増進堂・受験研究社	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月12日	書籍『中学 まとめノート 図解 歴史』
241	アキタ・プレスセンター	風張1遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月14日	JR 東日本重点販売地域指定ガイドブック

令和3年度画像資料等利用依頼一覧(5)

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
242	(株) 小学館サライ編集部	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月14日	書籍『土偶を読む図鑑』
243	(株) E & W	是川縄文館外観	5	写真貸与	1月14日	BS朝日「バトンタッチ SDGs はじめてます」
244	個人	田向冷水遺跡 石器ほか	7	写真使用	1月15日	自主探求発表
245	個人	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	1月18日	書籍『ミュージアムグッズのチカラ2』
246	JR 北海道車内法	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	1月18日	JR 北海道車内広報誌「The JR Hokkaido」
247	(株) JTB パブリッシング	展示室及び展示品	1	写真撮影	1月18日	るるぶ東北取材のため
248	(株) 電通東日本	展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	1月19日	東海テレビ「スイッチ！」
249	東海テレビ放送 (株)	展示室及び展示品ほか	2	映像撮影	1月20日	東海テレビ「スイッチ！」
250	(株) HIS	展示室及び展示品	1	映像撮影	1月21日	オンラインツアーハーサルのため
251	個人	パブリックビューイング	1	映像貸与	1月21日	東海テレビ「スイッチ！」
252	(株) シーアンドアイ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月25日	JR 東日本「大人の休日倶楽部」WEB ページにて紹介
253	NHK 国際放送局	分解状態の合掌土偶	2	写真貸与	1月26日	NHKWORLD 番組「Barakan Discover」 「Japanology Plus」
254	青い森信用金庫地域支援室	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月26日	観光ガイドブック「(仮称) 来て見て青い森 縄文&アートツアー」
255	NHK 大阪拠点放送局コンテンツセンター第3部	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	映像使用	1月27日	NHK 番組「歴史探偵 縄文」(仮)
256	悠工房	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1月27日	令和 6 年度小学校用教科書「新編 新しい社会 6 歴史編」
257	特定非営利活動法人 文化遺産の世界	是川中居遺跡 注口土器ほか	5	写真貸与	1月29日	フェイスブック投稿
258	(株) HIS	展示室及び展示品	1	映像撮影	1月30日	オンラインツアー一番巻のため
259	日本テレビ	縄文ラッピングバス	1	写真貸与	2月2日	ラッピングバス
260	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 鉢形土器ほか	12	写真貸与	2月2日	まちづくりコンペティション事業報告プレゼンテーション資料のため
261	毎日新聞社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2月2日	「井上涼の美術でござる」の紙面を「まいにち書房」サイトに販売するため
262	特定非営利活動法人 文化遺産の世界	縄文ファッションショーほか	13	写真貸与	2月3日	記事「世界文化遺産『北海道・北東北の縄文遺跡群』」
263	(有) 笠間書院	中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	2月8日	書籍『世界が驚く日本の凄い科学と技術』
264	(有) ベレ出版	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	2月8日	書籍『(仮) 日本の自然風景を読み解く』
265	山ノ内町教育委員会	是川中居遺跡 皿形土器ほか	2	写真貸与	2月10日	佐野遺跡の記事として地方紙「北信ローカル」
266	(株) ビーアールセンター	風張 1 遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	2月10日	ガイド向け教本
267	東京書籍 (株)	中居遺跡 赤漆塗壺形土器	1	写真貸与	2月13日	高等学校地理歴史教科書
268	小学館「サライ」編集部	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	2	写真貸与	2月15日	『サライ』5月号中面及びクリアファイル付録に使用
269	(株) 共同通信社	一王寺遺跡 土面	1	写真貸与	2月15日	「発掘された日本列島展 2022」展の公式図録(文化庁編)
270	八戸市美術館	是川中居遺跡 鉢形土器ほか	10	写真貸与	2月15日	展覧会図録
271	八戸縄文保存協会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2月15日	俳句集
272	(株) スリージェイ	展示室及び展示品	1	写真撮影	2月16日	「東北観光推進機構教育動画」掲載
273	(株) テレバイダー・エンタテインメント	風張 1 遺跡 空撮ほか	5	写真貸与	2月19日	TOKYO MX「寺島一郎の世界を知ろう 対談篇～時代との対話～」
274	テレビマンユニオン	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	2月19日	NHK「先人たちの底力 知恵泉 縄文」(仮称)
275	(株) HIS	展示室及び展示品	1	写真撮影	2月20日	オンラインツアー実施のため
276	青い森鉄道 (株)	いのるん	1	写真貸与	2月22日	コラボグッズ
277	(株) ニルソンデザイン事務所	新井田古館遺跡 深鉢形土器ほか	2	写真使用	3月1日	縄文 ZINE13 号及び合本
278	青森朝日放送(トラスネットワーク)	展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	3月1日	サンテレビ番組「いこか青森 こいへ青森」
279	八戸市市民連携推進課	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	3月1日	国際交流員取材
280	ちくま新書編集部	是川中居遺跡 赤色漆塗り製品	9	写真貸与	3月4日	根岸洋「縄文と世界遺産」(ちくま新書) 紙版および電子版
281	青森県人会	風張 1 遺跡 類杖土偶	1	写真貸与	3月2日	会報掲載
282	みちのくコカ・コーポラトリング	いのるんほか	5	写真貸与	3月3日	ユートリー設置自販機のラッピング
283	青森県観光国際戦略局誘客交流課	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	3月15日	取材
284	(株) 電通東日本	展示室及び展示品	1	映像撮影	3月16日	台湾オンライン視察会
285	茅野市尖石縄文考古館	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3月16日	茅野市尖石縄文考古館「学生向けワークシート」(仮)
286	(株) 夢の設計社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3月17日	書籍「ここまで変わった！縄文・弥生の新知識」
287	編集プロダクション MOVE	風張 1 遺跡 合掌土偶ほか	8	写真貸与・写真使用	3月17日	(株) JTB パブリッシング「ココロ十和田」
288	(株) KADOKAWA	酒美平遺跡 竪穴住居跡	1	写真貸与	3月23日	吉村武彦編「地域の古代日本 陸奥と渡り鳥」
289	(株) TBS スパークル	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	3月23日	テレビ番組
290	(株) 産業経済新聞社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3月23日	サンケイスポーツ「大人くらぶ」
291	NHK エデュケーショナル	是川中居遺跡 赤漆塗り櫛ほか	4	写真貸与	3月24日	NHK WEB サイト「ものすごい図鑑(文化財編)」
292	公益財団法人北海道埋蔵文化財調査センター	史跡是川石器時代遺跡全景ほか	12	写真貸与	3月24日	北海道埋蔵文化財センター企画展示
293	編集プロダクション MOVE	風張 1 遺跡 類杖土偶	1	写真使用	3月31日	「ココロ十和田」
294	個人	是川中居遺跡 土偶	1	写真撮影	3月31日	(株) 平凡社出版予定土偶集成企画
295	(株) シングレゴチ	是川中居遺跡 土偶	1	写真貸与	3月31日	学研の歴史学習まんが付録 DVD 収録

令和 3 年度画像資料等利用依頼一覧 (6)

(2) 実物資料

令和 3 年度は合計 5 件の貸出を許可した。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡出土 甕形土器・管玉 一王寺遺跡出土 骨角器 八戸城跡出土 土偶様壺形土器他 計 46 点	R3.4.1 ~ R4.3.31	常設展示
2	八戸市博物館	新井田古館遺跡出土陶磁器 榎引遺跡出土陶磁器 館平遺跡出土陶磁器 計 64 点	R3.6.23 ~ R3.9.30	特別展「乱世の終焉-根城南部氏と城-」
3	遠野市立博物館	風張 1 遺跡出土 国宝・合掌土偶(レプリカ)・ 頬杖土偶 (レプリカ) 計 2 点	R3.6.29 ~ R3.10.8	特別展「遠野物語と遠野の縄文文化」
4	同志社大学文化遺産情報 科学調査研究センター 藤田 尚 氏	新井田古館遺跡出土人骨の歯 計 41 点	R3.10.29 ~ R5.3.31	古 DNA の抽出及び分析
5	八戸市美術館	中居遺跡出土 鉢形土器ほか 計 28 点	R4.2.19 ~ R4.6.30	「持続するモノガタリ-語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」

令和 3 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約 700 点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約 3,000 箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和 3 年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した 241 点、12 箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員

会の発掘調査では、これまで記録保存の手段として 35mm フィルムカメラの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみでの記録を行っている。

(4) 図書

図書については、55,346 冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書の内 24,243 冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

令和 3 年度は 600 冊（うち寄贈 548 冊、購入 52 冊）を新たに追加した。

(5) データベース

是川縄文館データベースは、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータを館内に設置したサーバーに格納し、独自の仕様で運用してきたものである。開館時からの運用により、ハードウェアの耐用年数や、OS のサポート期間が満了するなど利用期限を迎えたことから、令和 2 年度にクラウド型データベースへの移行を行った。現在、遺跡 491 件、図書 54,609 件、資料 45,288 件など全 100,388 件の情報を格納して運用している。

7. 予算概要 ※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

予算内容		予算額 (円)
運営経費		106,452,000
《内訳》	施設維持管理経費	78,484,000
	一般管理事務経費	27,968,000
特別展・体験事業等開催事業費		25,000,000
《内訳》	特別展経費	9,696,000
	企画展経費	8,200,000
	共同研究経費	263,000
	教育普及経費	6,841,000
是川縄文の里整備事業費		139,017,000
発掘調査事業費		107,230,000
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	68,536,000
	八戸城跡発掘調査事業費	34,561,000
	八戸城跡発掘調査事業費 (その2)	1,780,000
	文化財調査管理事務経費	2,353,000
埋蔵文化財保存活用費		11,681,000
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	6,594,000
	是川遺跡出土品保存修理事業費	5,087,000
合 計		389,380,000

8. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 館の利用制限

新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを減じるため、9月1日(土)から9月30日(木)、1月24日(月)から3月7日(月)を休館としたほか、再開後はハンズオン展示・図書閲覧コーナーの利用中止やミュージアムショップの一時休業、展示解説ガイド・体験学習指導の予約受付制限等の各種対応を行った。また、それに付随して予定していたイベントについても、情勢の変化に応じて内容の変更や開催中止・延期の対応を行った。

月 日	内 容
4/1 (木) ~	・ 図書閲覧コーナー・ハンズオン展示の中止 ※~ 1/4 (火) ・ これカフェを席数制限のうえ営業
5/15 (土)	前期考古学講座①をインターネット中継で実施
6/19 (土)	前期考古学講座②をインターネット中継で実施
8/14 (土)、15 (日)	夏休み縄文体験コーナーの中止
8/22 (日)、29 (日)	日曜日縄文体験コーナーの中止 ※~ 10/31 (日)
9/1 (水) ~	是川縄文館臨時休館 ※~ 9/30 (木)
10/1 (金) ~	是川縄文館再開
11/7 (日) ~	日曜日縄文体験コーナー再開
1/5 (水) ~	図書閲覧コーナー・ハンズオン展示の再開
1/23 (日) ~	日曜日縄文体験コーナーの中止 ※令和4年4月現在も継続中
1/24 (月) ~ 3/7 (月)	・ 是川縄文館臨時休館 ・ これカフェ・ミュージアムショップの閉鎖
3/8 (火) ~	・ 是川縄文館再開 ・ 図書閲覧コーナー・ハンズオン展示の中止 ・ これカフェ・ミュージアムショップの閉鎖 ※~ 4/11

主な新型コロナウイルス感染症対策

月日	対象イベント	内容
7/10 (土) ~ 9/ 5 (日)	特別展「是川遺跡」	8/31 で終了
8/21 (土)、28 (土)	特別展ギャラリートーク	中止
8/28 (土)	特別展考古学講座	延期 (12/11)
9/ 4 (土)	縄文の布を編む講座	中止
9/18 (土)	シカ角でペンダント作り教室	中止
10/ 9 (土) ~ 11/21 (日)	秋季企画展「装い一身を飾る人びと」	変更 (10/16 ~ 11/28)
3/12 (土)	これかわ考古学クラブ修了式	中止
3/12 (土)	後期考古学講座③	中止
2/25 (金)	後期サポートスタッフ研修会⑤	中止
3/ 5 (土)	縄文土偶作り教室	中止

新型コロナウイルス感染症対策のため内容の変更、開催の中止・延期を行ったイベント

(2) 感染症対策

臨時休館から再開後は、主に以下のとおりの感染症対策を行った。これら対策の多くは令和 2 年度より継続して実施している。

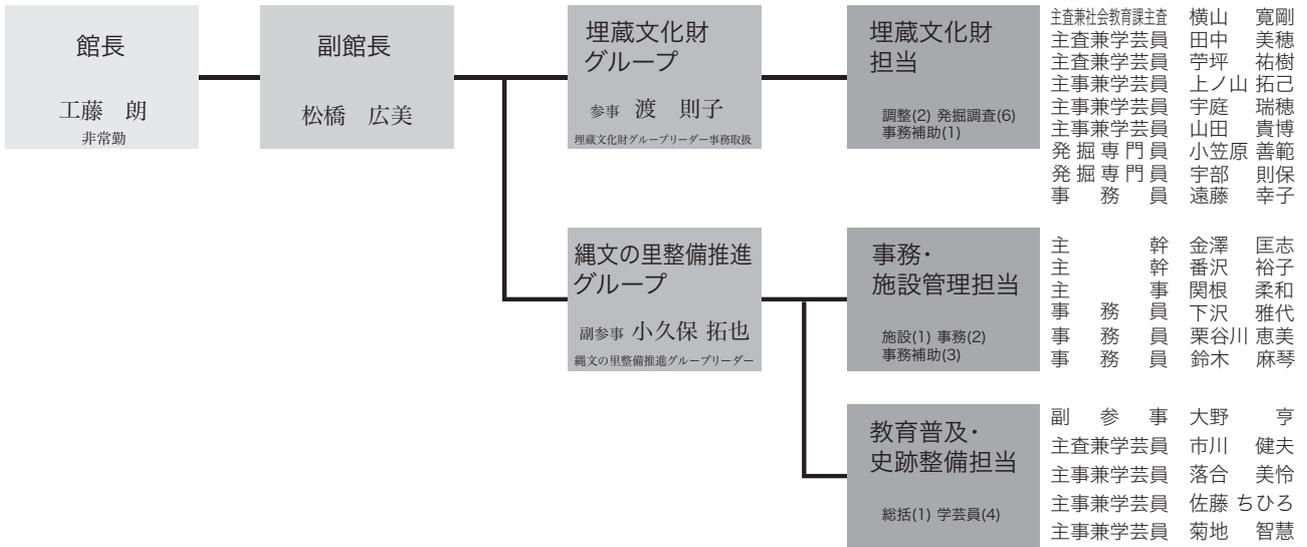
- ・館内各所に手指消毒液を設置
- ・ドアノブと手すり等の定期的な除菌
- ・館内スタッフのマスク着用徹底
- ・受付とミュージアムショップのレジに飛沫防止カーテンを設置
- ・トレーでの現金授受
- ・来館者の入館時のマスク着用と手指消毒の徹底
- ・来館者への検温、連絡先と健康状態の記入依頼
- ・展示室の入場制限 (原則 50 人 / 1 時間)
- ・観覧時間制限 (常設展 : 1 時間、企画展 : 30 分)
- ・展示室内における観覧者同士の十分な距離の保持の呼びかけ
- ・シアター前に設置している椅子の間隔保持
※席数を 19 → 8 に変更
- ・展示室への再入場や逆進行の禁止
- ・体調に不安がある方の入館制限
- ・ゴミ箱の撤去
- ・ガイドと体験学習指導時のフェイスシールドやハンズフリーマイクの利用促進
- ・日曜日縄文体験コーナーのメニューを限定 (1 時間以内で体験可能な滑石の勾玉作り、火起こし)
- ・体験コーナー利用後の各種道具・テーブル等の消毒の実施
- ・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施区域にお住まいの方が含まれる場合の展示解説と体験学習予約の受付を停止
- ・八戸 with コロナあんしん行動サービス (CODE 8) 周知



館内設置の非接触型消毒液

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成 7 年 【会員数】139 名 (法人会員含む)

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙など

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性向上を図っている。

このほか、毎年8月には「これかわ縄文まつり」を催し、弓矢体験や縄文土器・土偶作り、火起こし等の縄文体験、スタンプラリーといったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどのイベントが中止となったが、夏から秋にかけて「第6回是川縄文の里俳句大会」を開催した。俳句大会では学生の部・一般の部あわせて625作品の応募があり、その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。また、年度末には第5回までの入賞作品を掲載する「是川縄文の里俳句大会—第一回～第五回入選作品集—」を刊行した。

そのほか、当協会は「青森県の縄文遺跡群世界遺産をめざす会」や「北の縄文文化回廊づくり推進協議会」に加盟し、縄文遺跡群の世界文化遺産登録推進に係る普及啓発を行っている。



俳句大会表彰式

3. 是川文化財愛護会

【設立年】昭和 49 年 【会員数】13 名

【目的・活動】

是川遺跡とその出土品をはじめとする八戸市内の文化財の愛護事業に協力し、その活用を図り、地域文化の向上に資することを目的として発足した。主な活動として、是川遺跡の紹介や環境整備・保全活動及び文化財愛護思想の啓蒙等がある。

特に環境整備等の活動では、平成 6 年から実施された分館敷地内の復元竪穴住居における燻し等の保守管理活動や、縄文時代に生育されていたと考えられる植物の植栽活動等を継続的に実施している。

令和 3 年度は、カラムシ栽培管理・サルナシ柵修理・記念碑敷地清掃に関する業務を委託した。

4. 縄文是川ボランティア

【設立年】平成 8 年 【会員数】45 名

【目的・活動】

是川遺跡及びその出土品をはじめ縄文時代の調査・研究の成果を活用して、八戸市の縄文遺跡や縄文文化の素晴らしさを市民に伝え、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の教育普及活動を支援することを目的とし、下記の活動を行っている。

- ①縄文体験コーナー
- ②土曜日体験教室
- ③グループ・団体の体験学習の指導
- ④縄文土器野焼き
- ⑤学校・公民館等での体験学習の指導
- ⑥研究・研修・学習会
- ⑦是川縄文館本館の展示室や是川遺跡のガイド

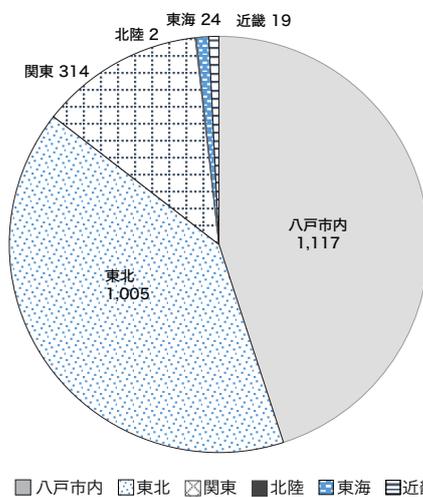
【活動実績】※体験学習指導の詳細については、III-3 教育普及の実績、VI-2 日記抄を参照されたい。



サポートスタッフ研修会の様子

月	開館 日数	延人数	一日平 均人数
4	27	185	7
5	18	192	11
6	22	218	10
7	20	254	13
8	21	191	9
9	0	117	-
10	28	240	9
11	24	248	10
12	24	176	7
1	17	170	10
2	0	164	-
3	21	188	9
計	222	2,343	11

縄文是川ボランティア
活動人数



縄文是川ボランティア展示解説 地方別利用状況
※縄文是川ボランティアの聞き取りにより把握

都道府県	人数
八戸市内	1,117
北海道	0
東北	1,005
関東	314
信越	0
北陸	2
東海	24
近畿	19
中国	0
四国	0
九州	0
沖縄	0
海外	0
不明	0
総計	2,481

利 用 案 内

○開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生・小学生	50 円	30 円

※市内 65 歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者 1 名は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）

祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）

年末年始（12 月 27 日～1 月 4 日）

※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通

バス：J R 八戸駅東口 4 から土日祝日のみ南部バス（是川縄文館ゆき）で約 20 分

ラピアバスターミナル 4 から南部バス（J42）で約 30 分

中心街バスターミナル 3（中央通）南部バス（J42・J43）で約 20 分

自動車：八戸自動車道・八戸 I C から約 10 分

タクシー：J R 八戸駅東口より約 15 分 ※距離：約 8km 料金：約 3,000 円

○駐車場

普通車 86 台 大型バス 6 台 障がい者用 3 台

○所在地

青森県八戸市大字是川字横山 1

TEL：0178（38）9511 FAX：0178（96）5392

○ホームページ

<https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
年 報
第 11 号 -令和 3 年度-

発 行 日 2022 年 6 月 日
編 集 ・ 発 行 八戸市教育委員会
八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1
TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷 大東印刷株式会社
〒 039-1103 八戸市長苗代字内舟渡 102-14
TEL 0178 (28) 2348 FAX 0178 (28) 4329